第3回　石狩川（下流）水系外流域治水協議会
資料－３

（３）流域治水における取組状況等について

令和４年３月２５日

豊平川外地域部会

- 札幌市、石狩市、当別町
- 札幌開発建設部
- 札幌建設管理部
- 石狩森林管理署
- 北海道水源林整備事務所
- 石狩振興局
- 空知総合振興局

札幌市、石狩市、当別町

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【豊平川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
札幌市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・河川整備 継続実施中 （雁来川、モエレ中野川等） ・流域貯留施設整備 継続実施中 （伏籠川、望月寒川（整備完了）） ・雨水拡充管整備 継続実施中 ・流出抑制施設の設置 継続実施中 （開発事業に伴う雨水貯留池等及び市民、企業による雨水浸透ますや雨水貯留槽等）		・河川整備 継続実施 （雁来川、モエレ中野川等） ・流域貯留施設整備 継続実施 （伏籠川） ・雨水拡充管整備 継続実施中 ・流出抑制施設の設置 継続実施 （開発事業に伴う雨水貯留池等及び市民、企業による雨水浸透ますや雨水貯留槽等）	
	被害対象を減少させるための対策	・土地利用・住まい方の工夫 継続実施中 （災害危険区域と出水のおそれのある区域の指定）		・土地利用・住まい方の工夫 継続実施 （災害危険区域と出水のおそれのある区域の指定）	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・内水ハザードマップの作成・公表 ・中小河川における浸水想定区域の検討 ・小中学校での防災授業の実施 継続実施中 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進 継続実施中 ・避難行動の理解促進 継続実施中	・札幌市の地域防災に関わりの深い住民との意見交換会を実施	・内水ハザードマップの周知 ・中小河川における浸水想定区域を追加した洪水ハザードマップの更新 ・小中学校での防災授業の実施 継続実施 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成促進 継続実施 ・避難行動の理解促進 継続実施	

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度　取組内容
・継続実施していた望月寒流域における流域貯留施設の整備が完成。
・内水氾濫への備えとして、市民への注意喚起を行う、内水ハザードマップの作成、公表。
・中小河川における浸水想定区域図を作成。

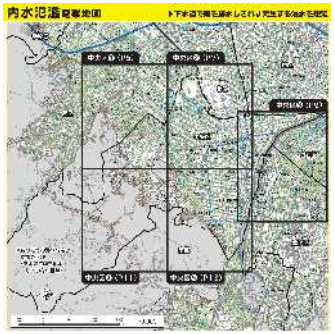
氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

・雁来川やモエレ中野川など**５河川**の河川整備を継続実施。
・望月寒川流域及び伏籠川流域において**４箇所**の流域貯留施設整備を継続実施　など。

流域貯留施設整備

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

・浸水シミュレーションの結果に基づいて浸水想定区域や内水氾濫への備えに関する情報を**内水ハザードマップ**として作成し、今年度中に公表。
・本市が管理している一級河川10河川において**洪水浸水想定区域図を作成**。



浸水想定区域図

大雨時の注意事項

次年度に向けた予定
・氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策としてのハード対策を継続実施。（河川整備、流域貯留施設の整備、雨水拡充管整備など）
・令和3年度に作成した内水ハザードマップ及び中小河川における浸水想定区域を追加した洪水ハザードマップの情報を1つにまとめ更新。

流域治水への住民参加　実施状況について

■地域住民との意見交換会
開催日時　　：令和3年11月25日
地域住民参加者：札幌市防災会議委員、兼札幌市民防災団体連合会副会長
内容：
流域治水プロジェクトについての概要について説明
また、災害対策基本法の改正に伴う避難情報の変更や現在作成中である「（仮称）札幌市浸水ハザードマップ」について情報提供し、地域防災全般の意見交換を実施した。

実施状況写真

地域住民からのご意見
- 地域住民と行政がコミュニケーションをとり、相互理解を得たうえで一体的に防災に取り組んでいくことが重要であると感じている。
- 日頃から地域住民同士がつながりを持っておくことは、防災の分野において特に大切なことであると思う。
- 「（仮称）札幌市浸水ハザードマップ」については、既存の洪水ハザードマップと新しく作成予定である内水ハザードマップを１つの冊子にまとめており、見開きで対比でき、わかりやすくとても良い取組みだと思う。
- 防災に係る担い手の確保については、高齢化が進んでいるため、若年層にも防災について関心をもってもらうことや積極的に参加しやすい環境にすることが大切と考える。
- 札幌市の協力を得て地域防災についての説明会を開催した際には、想定より多くの人が集まり、老若男女様々な方が参加したことから市民は防災に強い関心があると感じており、継続的に開催するべきだと考えている。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【豊平川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
石狩市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策	・避難体制の強化 ⇒小中学校での防災授業の実施 ⇒要配慮者利用施設の避難確保計画作成（進捗率81%）	・市内3小中学校の児童生徒、延べ169名防災授業参加 ・吉田宏和氏（石狩市防災まちづくり協会理事）との意見交換実施	・避難体制の強化 ⇒防災授業及び防災訓練等の実施 ⇒要配慮者利用施設の避難確保計画作成（進捗率100%目標）	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策				

■令和３年度 取組内容『被害対象を減少させるための対策』〈避難体制の強化〉

【一日防災学校の実施】（令和３年10月実施）
⇒児童生徒の災害時の「生きる力」を育む取組として学校が主体となり、防災まちづくり協会、防災マスターなどの協力のもと、平成30年度から毎年実施。
⇒市内３小中学校、小１から中３まで延べ169名の児童生徒が参加。

石狩中学校　１日防災学校の様子
→　スライドを使った防災の授業

石狩中学校　1日防災学校の様子
→　ダミーを使った応急処置の訓練

【要配慮者利用施設の避難確保計画作成】
⇒各種社会福祉施設や学校、医療施設などの防災上の配慮を要する方が利用する施設で、市では81施設を対象として、施設ごとの避難確保計画を順次策定中。
⇒令和３年９月末現在で、66施設について計画策定完了（進捗率81%）

流域治水協議会等への住民参加実施状況について　石狩市

■令和３年度 実施状況

【実施内容】（令和３年11月実施）
⇒Ｒ３年度実施した「一日防災学校」等に関して意見交換を実施。
⇒流域治水プロジェクトに関する情報共有　など

↑防災啓発活動に
参加する理事

防災啓発活動に
参加する理事↓

理事との意見交換等 実施状況（R3年11月）

石狩市防災まちづくり協会 理事
- 将来の地域を担う人材である小学校や中学校の児童生徒への防災教育は重要であり、また、児童らが、そうした話を各家庭へ持ち帰ることでの更なる防災啓発の波及を考えると、良い効果が期待できると思うので、今後も継続してほしい。
- 引き続き情報共有等をお願いしたい。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【豊平川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
当別町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策		・新型コロナウイルス感染症対策により不実施		
	被害対象を減少させるための対策	・防災マップの更新 ・広報等による防災活動の啓発	・新型コロナウイルス感染症対策により不実施	・出前講座、防災セミナーの実施による防災活動の啓発	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・防災備蓄倉庫の設置 ・段ボールベッド等の備蓄品の充実	・新型コロナウイルス感染症対策により不実施		

流域治水プロジェクトに基づく各種対応の概要について　当別町

・当別町防災マップを改訂し、全町民への周知を実施（令和3年4月）
・防災備蓄倉庫を建設し、防災備蓄を充実させた（令和3年4月）
・機構改革により総務部に危機対策課を新設し、防災体制を充実させた（令和3年4月）

【被害対象を減少させるための対策：新しい防災マップの概要】
・ハザードマップを最新のデータに更新し、ユニバーサルデザインを採用し、より見やすい内容への変更を図った。また、マイタイムラインを採用することにより、各自が日ごろからの防災への備えについて考えられるようにした。
　今後については、この防災マップを使用し、地域やサークル等の集まりを中心に出前講座を実施し、町内周知を図る。

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策：防災備蓄倉庫設置の概要】
・感染症対策を施した避難所の運営を考慮し、保健福祉センター「ゆとろ」の敷地内に延べ床面積約100㎡の防災備蓄倉庫を建設し、段ボールベッド、間仕切り等の感染症対策の防災備蓄品を収納した。
　今後については、収納されている物品を使用し、避難所運営訓練を実施する。

【その他：危機対策課新設の概要】
・令和2年度までは総務課において防災業務を行っていたが、近年各種災害が多発していることから災害対応の司令塔としての役割を果たすため、課長1名、専任係2名体制の危機対策課を新設した。
　新設した危機対策課において、各種計画、各種マニュアルを再整備することにより、輻輳化している災害に対応するほか、日ごろから防災に関する啓発、訓練、出前講座を実施することにより日ごろからの災害への備えに繋げる。

札幌建設管理部

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【豊平川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【建設管理部】 ・月寒川（河道掘削）、望月寒川（河道掘削・放水路整備）、厚田川（河道掘削・堤防整備）、当別ダム（事前放流）、砂防関係施設の整備　等	【建設管理部】 ・月寒川（河道掘削）、望月寒川（河道掘削・放水路整備）、当別ダム（事前放流）、砂防関係施設の整備　等
	被害対象を減少させるための対策	【建設管理部】 ・新川（防災資材の備蓄・整備）	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【建設管理部】 ・水害対応タイムライン運用の推進	【建設管理部】 ・水害対応タイムライン運用の推進

【札幌建設管理部】流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度 取組内容
　R3年度においては、継続実施していた月寒川の河道掘削、望月寒川の河道掘削や放水路整備を実施し、「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

月寒川（河道掘削等）

望月寒川（河道掘削・放水路整備等）

■次年度に向けた予定
　引き続き、優先整備区間において河道掘削等の整備を進める。

石狩森林管理署

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【豊平川外地域部会】 各種対策のフォローアップ

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
石狩森林管理署	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【森林整備】 ・札幌市外国有林で間伐等による森林整備を実施	【森林整備】 ・札幌市外国有林で間伐等による森林整備を実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく国有林の取組について

北海道森林管理局

■令和3年度　取組内容

・林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。

・R3年度においても、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向けての森林整備（間伐、植栽等）を実施した。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

人工林の間伐を実施

石狩森林管理署　森林整備

引き続き、「流域治水」の取組とも連携し森林整備（間伐、植栽等）及び治山事業を実施予定。

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【豊平川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
森林整備センター	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施	・引き続き流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

（森林整備センター）

■　令和3年度　取組内容　：　森林整備　間伐実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

間伐実施前

間伐実施後

■　次年度以降も引き続き計画的に間伐を実施予定

石狩振興局 産業振興部

・林務課

空知総合振興局

・森林室

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【豊平川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
石狩振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・弁華別地区流木防止総合対策工事（当別町）を実施 ・中小屋温泉地先小規模治山工事（当別町）を実施 ・小谷地区保育工事（石狩市）を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）を札幌市、石狩市、当別町にて実施	【林務課】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【豊平川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【森林室】 ・四番川ほか保育工事（当別町）を実施 ・空知団地育林事業を当別町にて実施	【森林室】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

治山対策・森林整備の概要について

北海道

■令和3年度　取組内容
・北海道において治山事業により渓間工（治山ダム等）、山腹工（法枠工等）、森林整備（間伐、植栽等）の実施
・北海道、各市町村等において森林整備事業（間伐・植栽等）を実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

渓間工（治山ダム等）の実施状況

山腹工（法枠工等）の実施状況

植栽の実施状況

間伐の実施状況

・治山事業について、継続事業・保育事業については継続的に実施。また森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に事業を実施。
・各市町村等において森林整備（間伐・植栽等）を計画的に実施

千歳川外地域部会

- 江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、南幌町、長沼町
- 札幌開発建設部
- 札幌建設管理部
- 石狩森林管理署
- 空知森林管理署
- 北海道水源林整備事務所
- 石狩振興局
- 空知総合振興局

江別市、千歳市、恵庭市、北広島市
南幌町、長沼町

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
江別市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	●流域治水の取組（事業） ・準用河川・普通河川・集水路の河道掘削 ■11月～3月実施予定 ・排水ポンプ装置等点検・運転講習（釜場、低地帯関連） ■8月2日実施	・例年市内の代表者8名で構成する江別市治水事業促進連絡協議会で事業説明しているが、令和2年、3年度はコロナで書面開催のため未実施 ・住民参加なし	・準用河川・普通河川・集水路の河道掘削 ・準用河川・普通河川の河道内雑木伐採 ・排水ポンプ装置等点検・運転講習（釜場、低地帯関連）	・コロナウィルス感染状況を踏まえて江別市治水事業促進連絡協議会で事業説明等の実施を検討
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	●出前講座等による水防教育、防災意識の啓発活動 ・防災教育（水害） ■ディザスタースコープ（AR技術）を活用した浸水体験及び啓発用ポスターの作成 ・水害時の避難行動の理解促進 ■コロナ禍に対応したハイブリッド研修会の実施	【防災授業参加者】 江別太小学校 児童：約80名（特別支援学級含む） 【研修会参加者】 地域住民（萌えぎ野自治会） 会場：約30名 Web：約20名	・防災授業を通して「小学生向けマイ・タイムライン」の作成を検討 ・浸水想定区域内の自治会を対象に水害に関する研修会の実施を促進 ・防災あんしんマップ（洪水ハザードマップ）の更新を予定	・関係小学校と調整 ・関係自治会と調整

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度　江別市事業内容
・準用河川・普通河川・集水路の河道掘削
・排水ポンプ装置等点検・運転講習（釜場、低地帯関連）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

河道掘削予定位置図
(11月～3月予定)

排水ポンプ点検・運転講習　(8月2日実施)

≪参考≫過去の運転状況

次年度に向けた予定
　例年、市内の代表者8名で構成する江別市治水事業促進連絡協議会において事業説明を行っているが、令和2年、3年度は書面開催のため未実施。
　次年度以降はコロナウィルス感染状況を踏まえて事業説明の実施を検討。

流域治水協議会等への住民参加　実施状況について

江　別　市

【江別市実施内容】
・防災教育（水害）「ディザスタースコープを利用した浸水体験及び啓発用ポスターの作成」
・水害時の避難行動の理解促進　「コロナ禍に対応したハイブリッド研修会の実施」

防災教育（水害）

■ディザスタースコープを利用した浸水体験及び啓発用ポスターの作成

・ＮＨＫ（日本放送協会）の協力を得て、ディザスタースコープ（「AR：拡張現実」技術を用いた災害疑似体験アプリ、以下「AR」と言う）を利用し、浸水想定区域内にある小学校で、防災授業を実施した。
・AR画像を活用したポスターや避難に関するキャッチコピーについて検討を行い、水害時の避難行動について意識醸成を図った。

ポスター（イメージ）

・ポスター（R3.12完成予定）は、浸水想定区域内の小中学校（６校）に掲示して、水害の周知啓発を図る。

水害時の避難行動の理解促進

■コロナ禍に対応したハイブリッド研修会の実施

・実際の会場と同時に在宅で参加できるWeb会議システムをオンラインでつなぎ、ハイブリッド形式で自治会の「水害に関する研修会」を実施した。
・研修会では、気象予報士と市担当者、自治会の代表者が水害に関するトークセッションを行い、会場とオンラインの両方で質疑応答を行うなど、住民の意識醸成を図った。

防災授業を通した今後の取組

今後、市内の小学校と連携し、防災授業を通して、**「小学生向けマイ・タイムライン」**の作成提案をいただき、浸水想定区域内の全小学校に周知啓発できるよう取組をすすめる。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
千歳市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・雨水管の増設 ・農業用排水路の床ざらい、草刈り ・排水機場の維持補修 ・普通河川等の河道掘削、草刈り ・調整池の草刈り ・住宅建築や駐車場整備等における浸透桝の設置指導	・千歳市防災マスターリーダー会4名と、流域治水プロジェクトに関する意見交換を実施	・雨水管の増設 ・農業用排水路の床ざらい、草刈り ・排水機場の維持補修 ・普通河川等の河道掘削、草刈り ・調整池の草刈り ・住宅建築や駐車場整備等における浸透桝の設置指導	・千歳市防災マスターリーダー会と、流域治水プロジェクトなど、防災、減災に関する意見交換を実施予定
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・防災教育の実施	・千歳市防災マスターリーダー会4名により実施 （事前調整、意見交換等）	・防災訓練、防災教育を実施予定 総合防災訓練時の訓練展示等による啓発 出前講座等による防災教育	・参加予定 町内会等 千歳市防災マスターリーダー

千歳市における各種対策の概要について

千歳市

■令和3年度　取組内容
・R3年度においては、農業地域の内水氾濫を抑制する農業用施設などの維持補修、雨水管の機能を増強する下水道工事、普通河川・調整池の維持管理、住宅建築等における浸透桝の設置指導を継続して実施したほか、千歳市防災マスターリーダーによる防災教育を実施。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

◎農業地域の内水氾濫を抑制する農業用施設

【農業用排水路】
・農業用排水路の床ざらい、草刈りの実施

【排水機場】
・排水機場の維持補修の実施

◎普通河川等の河道掘削、草刈

【幌加川】
・河道掘削

◎雨水管の機能を増強する下水道工事

【雨水管敷設状況】
・雨水管敷設工事の実施

◎住宅建築等における浸透桝の設置指導

【設置状況】
・浸透桝の設置

◎調整池の草刈

【調整池】
・草刈

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

◎防災教育の実施

【実施状況】
・千歳市防災マスターリーダーによる、災害全般に関する防災教育の実施

次年度以降の取組（予定）：　R4年度においても、これらの対策について継続して実施する予定

【千歳市】住民等参加　実施状況について

■R3年度実施内容
相手方：千歳市防災マスターリーダー会
協議内容：流域治水プロジェクトに関する情報共有

【流域治水プロジェクト等についての意見】
・56災害以降、千歳市において大きな災害がないため、市民は水害に対する危機感がないと感じる。
・遊水地、調整池などが整備されても、その存在を知らない人が大多数と思われる。
・市民に対しては、根志越遊水地の利活用を通して、遊水地の機能や存在を知ってもらう必要があるのではないか。
・流域治水に関することについては、今後も情報共有等お願いしたい。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
恵庭市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・雨水流出抑制に関する指導（10件）の実施。 ・宅地等開発行為に関する指導（4件）の実施。 ・西島松地区下水道雨水管（L=88m）の整備。 ・基線下水道雨水管（L=730m）の整備。 ・北島排水機場導水路（L=1,268m）の床ざらいの実施。 ・（東恵庭・松鶴・島松・北栄）地区水田貯留施設実施。		・雨水流出抑制に関する指導の継続実施。 ・宅地等開発行為に関する指導の継続実施。 ・基線下水道雨水管（L=210m）整備を継続実施予定。 ・毎年、北島排水機場導水路（L=1,300m）の床ざらいを実施予定。 ・（東恵庭・松鶴・島松・北栄）地区水田貯留施設実施。	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・ハザードマップの更新を行った。	・ハザードマップの全戸配布の実施。	・大雪を想定した災害対策訓練（職員を対象とした机上訓練）を予定。	・町内会及び防災協定締結企業等の情報伝達訓練への参加。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

恵　庭　市

■令和3年度　取組内容

・雨水流出抑制に関する指導（10件）を行った。
・宅地開発行為に関する指導（4件）を行った。
・ 西島松地区下水道雨水管 （Ｌ＝８８ｍ） を整備中。
・ 基線下水道雨水管 （Ｌ＝７３０ｍ） を整備中。
・北島排水機場導水路（L＝1，268m）の床ざらいを行った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

・基線下水道雨水管整備状況

・北島排水機場導水路床ざらい状況

次年度に向けた予定　など

・北島排水機場導水路床ざらいについては毎年実施している。
・基線通り下水道雨水管整備（L=210m）を継続予定。

流域治水協議会等への住民参加　実施状況について

恵　庭　市

■協議内容

・防災訓練の取り組みについて
・流域治水プロジェクトに関する情報共有

町内会連合会会長への説明

出前講座（防災）実施状況

【地域住民からのコメント住民参加方法について】
・漁川ダムを定期的に浚渫し貯水能力を確保するとともに大雨を予測し、事前放流を行って頂きたい。
・地域住民の防災意識向上のため総合防災訓練を毎年行って頂きたい。
・現実的な避難所運営方法について考えて頂きたい。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
北広島市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	●開発行為等の雨水流出抑制対策 ●河道の掘削（中の沢川）	河川整備及び維持管理が継続的に実施できるよう計画的な予算の確保が重要	●開発行為等の雨水流出抑制対策 ●河道の掘削	河川整備及び維持管理が継続的に実施できるよう計画的な予算の確保が重要
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	●緑地の公有化（10．5ha） ●出前講座（東部中学校）、防災訓練の実施 ○「期成会だより」の発行・配布による防災意識の啓発促進	保水機能の保全が見込める緑地の公有化や緑地の担保が図られると良い 期成会としても住民や企業に対する防災意識の啓発は重要と考えており推進したい	●緑地の公有化や担保 ●出前講座、防災訓練の実施 ○「期成会だより」の発行・配布による防災意識の啓発促進	保水機能の保全が見込める緑地の公有化や緑地の担保が図られると良い 期成会としても住民や企業に対する防災意識の啓発は重要と考えており推進したい

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

北広島市

■令和3年度　取組内容
- 開発行為等の宅地造成に伴う雨水流出抑制対策の指導
- 河道の掘削（中の沢川）
- 樹林地の公有化による保水機能の維持（約10.5ha）
- 出前講座（東部中学校）や防災訓練の実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

河道掘削

出前講座

防災訓練

■次年度に向けた予定
- 開発行為等の宅地造成に伴う雨水流出抑制対策の指導
- 出前講座や防災訓練の実施

流域治水協議会等への住民参加　実施状況について

北広島市

■協議内容
- 市が主体となり実施した河道掘削、樹林地の公有化、出前講座や防災訓練の実施についての意見交換
- 治水対策促進期成会における取組についての意見交換
- 流域治水プロジェクトに関する情報共有

■協議結果　北広島市治水対策促進期成会　会長
- 河川整備及び維持管理が継続的に実施できるよう計画的な予算の確保が重要
- 保水機能の保全が見込める緑地の公有化や緑地の担保が図られると良い
- 期成会としても住民や企業に対する防災意識の啓発は重要と考えており推進したい

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
南幌町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・普通河川の草刈りなどによる維持管理 ・緊急浚渫推進事業債を活用した河道掘削の検討	―	・普通河川の草刈りなどによる維持管理 ・緊急浚渫推進事業債を活用した河道掘削の実施	―
	被害対象を減少させるための対策	―	―	―	―
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・令和３年度南幌町災害対策本部設置運営訓練の実施 ・南幌町千歳川治水対策促進期成会だより の発行 ・排水機場補助員機場設備操作研修会の実施	・南幌消防団４５名参加 ― ・排水機場補助員 １０名参加	・水防訓練の実施 ・南幌町千歳川治水対策促進期成会による「期成会だより」の発行 ・排水機場補助員研修の実施	・地域住民を予定 ― ・排水機場補助員

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度　取組内容
・普通河川の草刈りによる維持管理、南幌町災害対策本部設置運営訓練などを実施し「流域治水」の推進を図った。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

令和3年度南幌町災害対策本部設置運営訓練概要

1　目的
台風や大雨など、近年の異常気象による風水害等、大規模災害発生時において、職員及び災害対策本部が迅速かつ的確に対応するため「災害対策本部設置運営訓練」を実施し、災害対応力の向上を図ることを目的とする。

2　日時　令和３年１０月２６日（火）午後１時から午後３時３０分まで
※小雨決行、悪天候中止

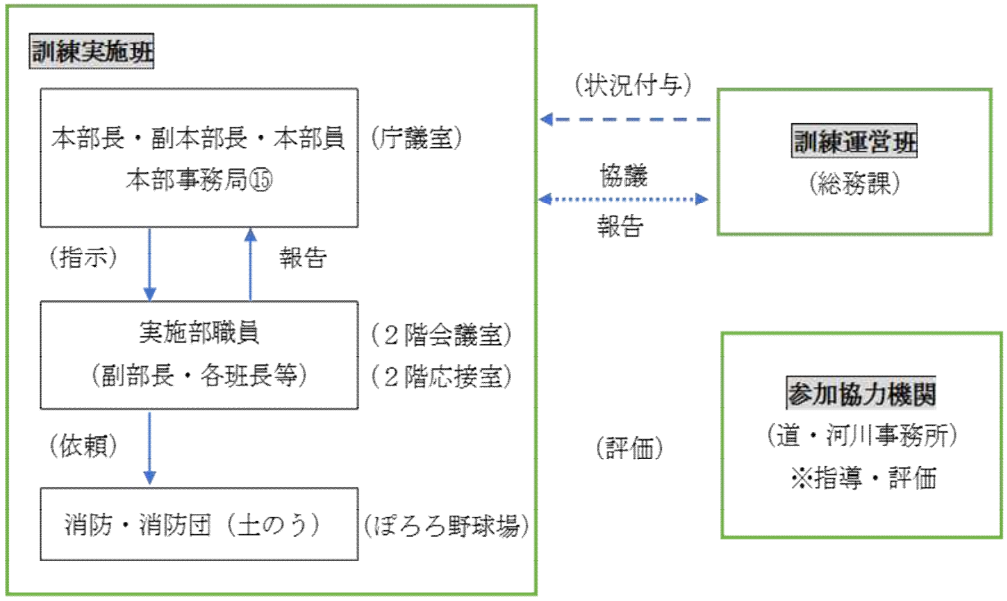
3　場所　役場２階庁議室　他

4　参加協力機関
北海道開発局札幌開発建設部江別河川（千歳川河川）事務所、北海道総務部危機対策課、南空知消防組合南幌消防団、南幌町社会福祉協議会

5　想定訓練内容
【水害（水防訓練）】
１０月２４日（日）から２６日（火）にかけて、北海道（日本海側）に停滞した前線の影響により「大雨警報」「洪水警報」が発令され、南幌町や千歳川上流では３日間で４００ミリを観測する大雨となった。

6　実施内容
（１）災害対策本部設置運営訓練
（２）避難所設置訓練
（３）土のう作り訓練

7　実施体制



流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

令和3年度南幌町災害対策本部設置運営訓練の様子

対策本部会議設営訓練状況

避難所設置訓練状況

土のう作り訓練状況－１

土のう作り訓練状況－２

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

排水機場補助員機場設備操作訓練の様子

令和3年7月12・16日に町内排水機場5機場にて運転補助員10名に対して機場設備に対する操作研修を実施した。

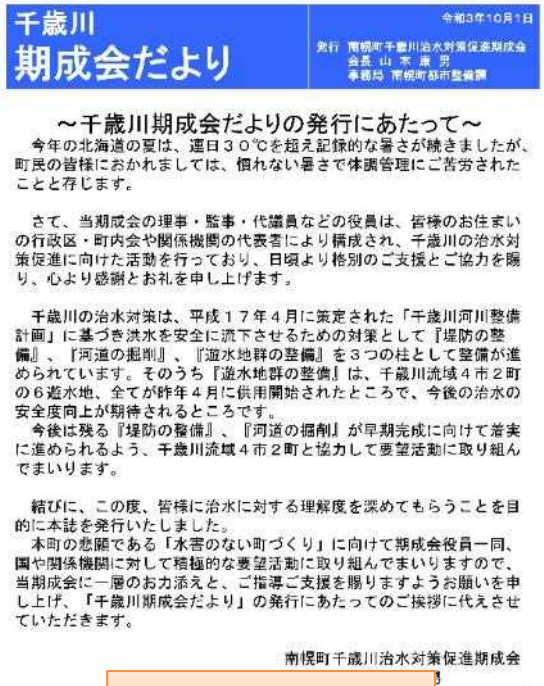
域治水協議会等への住民参加　実施状況について

南　幌　町

■協議内容

・ 地域住民に千歳川流域の治水対策と現在の整備状況を広く周知するため、南幌町千歳川治水対策促進期成会から「期成会だより」を発行するため、同期成会会長と紙面の協議を行った。

紙面打合せ状況写真



千歳川
期成会だより

令和3年10月1日
発行 南幌町千歳川治水対策促進期成会
会長 山 本 康 男
事務局 南幌町都市整備課

～千歳川期成会だよりの発行にあたって～

今年の北海道の夏は、連日３０℃を超え記録的な暑さが続きましたが、町民の皆様におかれましては、慣れない暑さで体調管理にご苦労されたことと存じます。

さて、当期成会の理事・監事・代議員などの役員は、皆様のお住まいの行政区・町内会や関係機関の代表者により構成され、千歳川の治水対策促進に向けた活動を行っており、日頃より格別のご支援とご協力を賜り、心より感謝とお礼を申し上げます。

千歳川の治水対策は、平成１７年４月に策定された「千歳川河川整備計画」に基づき洪水を安全に流下させるための対策として『堤防の整備』、『河道の掘削』、『遊水地群の整備』を３つの柱として整備が進められています。そのうち『遊水地群の整備』は、千歳川流域４市２町の６遊水地、全てが昨年４月に供用開始されたところで、今後の治水の安全度向上が期待されるところです。
今後は残る『堤防の整備』、『河道の掘削』が早期完成に向けて着実に進められるよう、千歳川流域４市２町と協力して要望活動に取り組んでまいります。

結びに、この度、皆様に治水に対する理解度を深めてもらうことを目的に本誌を発行いたしました。
本町の悲願である「水害のない町づくり」に向けて期成会役員一同、国や関係機関に対して積極的な要望活動に取り組んでまいりますので、当期成会に一層のお力添えと、ご指導ご支援を賜りますようお願いを申し上げ、「千歳川期成会だより」の発行にあたってのご挨拶に代えさせていただきます。

南幌町千歳川治水対策促進期成会

期成会だより

【地域住民からのコメント住民参加方法について】
南幌町千歳川治水対策促進期成会　会長
・日頃から降雨災害に対する意識付けと、治水に対する理解度を深めるため、機関紙発行による住民周知が必要と感じている。
・引き続き地域住民に対して情報共有を通じて防災意識と治水に対する理解度の向上に努める。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R３年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
長沼町	氾濫をできるだけ防ぐ減らす為の対策	○富士戸川改修事業の実施 富士戸ダムの堆積土砂の撤去		○富士戸川改修事業の継続実施	
	被害対象を減少させるための対策	○各排水機場（９施設）の月点検整備の実施（4月～11月）	○各地域の水防組合、期成会より選出された排水機場操作員（57名）により実施	○各排水機場（９施設）の月点検整備の継続実施（4月～11月）	○各地域の水防組合、期成会より選出された排水機場操作員（57名）により実施
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	○防災ガイドの配布 ・全戸約５０００部を配布 ・小・中学校に学習用（1日防災学校等）として６５０部配布 ○自主防災組織の育成 ・モデル地区を指定し、避難行動要支援者の避難支援等自主防災組織の活動計画として「地区防災計画」の作成を推進	○小学校、中学校において避難訓練を含む防災学習（１日防災学校）の実施 ○行政区防災担当者に地区防災計画作成依頼	○総合防災訓練の実施 ○１日防災学校の支援 ○自主防災組織の育成	

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

長　沼　町

■令和3年度　取組内容

・ R3年度においては、継続実施していた富士川改修事業（富士戸ダムの整備）、各排水機場の月点検整備を実施し「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

○富士戸ダムの堆積土砂の撤去（約5,000㎥）
調整ゲートの改修によりダム機能の維持を図る

被害対象を減少させるための対策

○各排水機場（９施設）の月点検整備を
排水機場操作員（57名）により実施
（4月～11月）
写真は冬季に向けた水抜き作業

次年度に向けた予定

○富士戸川改修事業の継続実施

○排水機場の月点検整備の継続実施

流域治水協議会等への住民参加　実施状況について

長　沼　町

■協議内容
- 防災訓練・防災教育の実施に関して反省点や今後に向けた改善策の意見交換
- 流域治水プロジェクトに関する情報共有

○町内３河川の治水対策協議会長と意見交換
今年度の河川の整備状況の説明

○自主防災組織育成web研修を受講する
行政区防災担当者

【地域住民からのコメント住民参加方法について】　　町内3河川の治水対策協議会長
・新型コロナ感染抑制により中止となった総合防災訓練を来年度以降は感染対策したうえで実施する方向で検討して頂きたい。
・次年度、防災に関する出前講座を依頼したい。
・ハザードマップに標高を表示した方がよい。
・引き続き情報共有等お願いしたい。

札幌建設管理部

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【建設管理部】 ・島松川（河道掘削）、南九号川（河道掘削） 等	【建設管理部】 ・島松川（河道掘削）、南九号川（河道掘削） 等
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【建設管理部】 ・水害対応タイムライン運用の推進	【建設管理部】 ・水害対応タイムライン運用の推進

【札幌建設管理部】流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度 取組内容
　R3年度においては、継続実施していた島松川の河道掘削や堤防整備、南九号川の河道掘削を実施し、「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

島松川（河道掘削・堤防整備等）

南九号川（河道掘削等）

■次年度に向けた予定
　引き続き、優先整備区間において河道掘削等の整備を進める。

石狩森林管理署
空知森林管理署

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】 各種対策のフォローアップ

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
石狩森林管理署	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【森林整備】 ・千歳市外国有林で間伐・植栽等による森林整備を実施 【治山対策】 ・治山流域別調査実施（千歳川上流・下流、漁川支流）	【森林整備】 ・千歳市外国有林で間伐等による森林整備を実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく国有林の取組について

北海道森林管理局

■令和3年度　取組内容

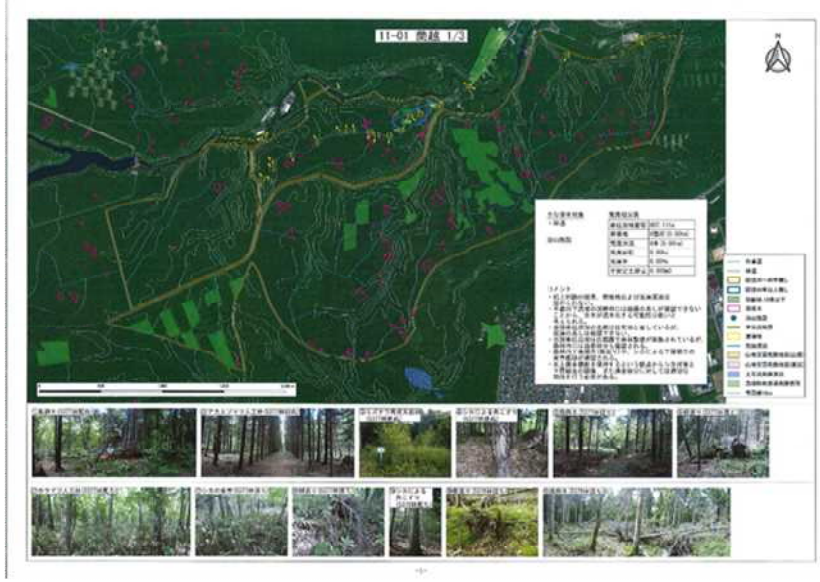
・林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。

・R3年度においても、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向けての森林整備（間伐、植栽等）及び治山事業を実施した。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

風倒害跡地の植栽

石狩森林管理署　森林整備



千歳川及び漁川流域別調査を実施

石狩森林管理署　治山事業

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】 各種対策のフォローアップ

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知森林管理署	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【森林整備】 ・長沼町外国有林で植付・下刈による森林整備を実施	【森林整備】 ・長沼町外国有林で植付・下刈による森林整備を実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

空知森林管理署　森林整備

引き続き、「流域治水」の取組とも連携し森林整備（間伐、植栽等）及び治山事業を実施予定。

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
森林整備センター	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施 （現時点で該当地域なし）	・引き続き流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施 （現時点で該当地域なし）
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

（森林整備センター）

■ 令和3年度　取組内容　：　森林整備　間伐実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

間伐実施前

間伐実施後

■ 次年度以降も引き続き計画的に間伐を実施予定

空知総合振興局 産業振興部

- 整備課
- 南部耕地出張所

石狩振興局 産業振興部

- 整備課

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【整備課・南部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施	【整備課・南部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

北海道

■令和3年度　取組内容
・　農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

農業用水利施設（排水路）の整備

区　画　整　理

令和4年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを推進

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト 【千歳川外地域部会】　各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
石狩振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【整備課】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施	【整備課】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

北海道

■令和3年度　取組内容
・　農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

・　農業水利施設の活用

農業用排水路の施工

水田貯留機能向上

水田の大区画化

整　地

畦畔築立

令和4年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを推進

空知総合振興局 産業振興部

- 林務課
- 森林室

石狩振興局 産業振興部

- 林務課

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・馬追原野地区小規模治山工事（長沼町）を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）を長沼町にて実施 【森林室】 ・空知団地育林事業を江別市にて実施	【林務課】【森林室】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【千歳川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
石狩振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・豊幌地区保安林緊急改良工事（江別市）を実施 ・豊幌地区ほか保育事業（江別市）を実施 ・仁別保育工事（北広島市）を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）を千歳市、北広島市にて実施	【林務課】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

治山対策・森林整備の概要について

北海道

■令和3年度　取組内容
・北海道において治山事業により渓間工（治山ダム等）、山腹工（法枠工等）、森林整備（間伐、植栽等）の実施
・ 北海道、各市町村等において森林整備事業（間伐・植栽等） を実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

渓間工（治山ダム等）の実施状況

植栽の実施状況

山腹工（法枠工等）の実施状況

間伐の実施状況

・治山事業について、継続事業・保育事業については継続的に実施。また森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に事業を実施。
・各市町村等において森林整備（間伐・植栽等）を計画的に実施

夕張川上流地域部会

- 夕張市、由仁町、栗山町
- 札幌開発建設部
- 札幌建設管理部
- 空知森林管理署
- 北海道水源林整備事務所
- 空知総合振興局
- 胆振総合振興局

夕張市、由仁町、栗山町

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【夕張川上流外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
夕張市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・　令和3年10月20日 防災教室～夕張中学校 災害時における危険予知・避難経路・避難所運営について各グループで討議を行い災害への意識を高めた。 ・　生活館等機能改善 令和3年度事業として各町内会（21組織）が運営する生活館等に発電機等の整備が図られ、避難所機能の改善をしたことから各町内会の役員等に機器の取扱い・点検要領について説明しているところ。また、避難情報に関する改定に伴い、警戒レベルの説明を行い自助・共助の重要性について意識向上を図っている。 ・　水防訓練及び住民避難訓練 （令和3年10月3日に実施予定していたところ新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から来年度に延期したもの。）	生徒98人 R3年10月現在 21組織のうち11組織実施済 住民120人	・　防災講話 防災意識や知識の向上について 自主防災活動について 図上訓練（DIG・HUG訓練）について その他　ダンボールベッド組み立て ・　ハザードマップ更新 平成25年度に作成したハザードマップは、水防法及び土砂災害防止法の改定に伴い更新予定しているもの。 ・　水防訓練及び住民避難訓練 大雨等の影響により河川の氾濫及び土砂災害を想定した訓練を市・消防本部（署）・消防団・警察が連携し、災害対応能力の向上と住民の防災意識向 上を図ることを目的としたもの。	

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

夕　張　市

■令和3年度　取組内容

・ R3年度においては、防災教室の開催、各町内会（21組織）に発電機等を整備し、機器の取扱い・点検要領について説明を行うことで「流域治水」の推進を図った。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

発電機取扱い説明（令和3年）

・生活館等機能改善（21組織のうち11組織実施(R3.10)）
発電機の取扱い・点検要領、警戒レベルの説明を実施

夕張中学校防災教室

・防災教室～夕張中学校(令和3年10月20日)
災害時における危険予知・避難経路・避難所運営について各グループで討議を行い災害への意識を高めた。

- 防災講話等を通じて防災意識や知識の向上等を図る
- 水防法及び土砂災害防止法の改定に伴いハザードマップの更新
- 河川の氾濫及び土砂災害を想定した水防訓練及び住民避難訓練

由　仁　町

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【夕張川上流地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
由仁町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・防災訓練及び防災教育を実施予定	由仁小学校全児童、由仁中学校全生徒を対象とした1日防災学校を9月にweb形式で実施。避難所用テント設営訓練や、備蓄品について説明した。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により地域住民を対象とした防災訓練は実施できなかったが、ハザードマップを用いた出前講座を地域住民50名程度を対象に実施した。	・防災訓練及び防災教育を実施予定	

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

由　仁　町

■令和3年度　取組内容
・ R3年度においては、WEB形式で開催した防災学校やハザードマップを用いた出前講座を行うことで「流域治水」の推進を図った。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

出前講座の様子

・ 引き続き、防災訓練及び防災教育を行う

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【夕張川上流地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
栗山町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	流下能力の確保をするため、「緊急浚渫推進事業計画」に基づき、町内を流れる普通河川の浚渫を実施 【実施河川】 〇トキト川（令和2～6年度の複数年計画） 〇杵臼川（令和3～6年度の複数年計画）	－	引き続き、流下能力の確保をするため、「緊急浚渫推進事業計画」に基づき、町内を流れる普通河川の浚渫を実施予定 【予定河川】 〇トキト川（令和2～6年度の複数年計画） 〇杵臼川（令和3～6年度の複数年計画）	－
	被害対象を減少させるための対策	－	－	－	－
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①1日防災教室の実施 ②地域での防災教育・学習会の実施	①地域住民など約450名参加 （児童、先生方、地域住民） ②地域住民6名参加	防災訓練及び防災教育を実施予定 【実施予定】 〇総合防災訓練 〇1日防災教室 〇各地域での防災教育・学習会等	地域住民参加予定

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度　取組内容

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

◆栗山小学校で児童・地域住民などを対象に、１日防災教室を実施
◆町民を対象とした防災学習会を実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

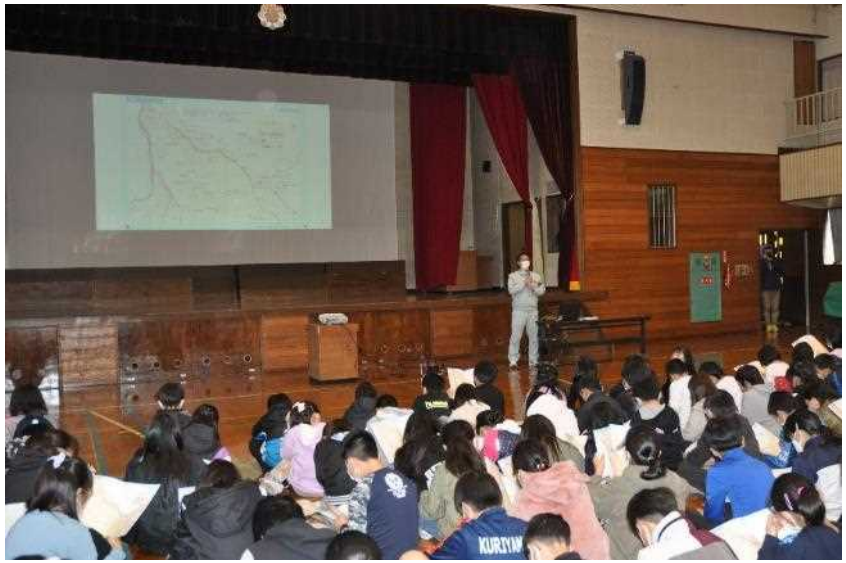
◆「緊急浚渫推進事業計画」に基づき、町内を流れる普通河川（トキト川、杵臼川）の浚渫を実施

次年度に向けた予定　など
◆防災訓練及び防災教育の実施
◆町内を流れる普通河川の浚渫の実施（トキト川、杵臼川）

流域治水協議会等への住民参加　実施状況について

栗　山　町

■協議内容
- R3年度実施した1日防災教室・防災学習会の実施。
  実施後、反省点や今後に向けた改善策の意見交換を行った。



1日防災教室

防災学習会

【地域住民からのコメント住民参加方法について】
・ハザードマップを用いての講演など、身近にある危険や災害について理解が深まったと思う。
・防災訓練・学習会には、より多くの住民に参加してもらえるよう周知する必要がある。
・次年度以降も防災教室・学習会は関係機関・地域住民の方と協力して実施してもらいたい。
など

札幌建設管理部

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【夕張川上流地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【建設管理部】 ・雨煙別川（河道掘削・堤防整備）、ポンアノロ川（河道掘削）、由仁川（河道掘削）、栗山ダム：事前放流　等	【建設管理部】 ・雨煙別川（河道掘削）、ポンアノロ川（河道掘削）、栗山ダム：事前放流　等
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【建設管理部】 ・水害対応タイムライン運用の推進	【建設管理部】 ・水害対応タイムライン運用の推進

【札幌建設管理部】流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度 取組内容
　R3年度においては、継続実施していたポンアノロ川や由仁川などの河道掘削を実施し、「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

ポンアノロ川（河道掘削等）

由仁川（河道掘削等）

■次年度に向けた予定
　引き続き、優先整備区間において河道掘削等の整備を進める。

空知森林管理署

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト 【夕張川上流地域部会】　各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知森林管理署	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【森林整備】 ・夕張市外国有林で間伐等による森林整備を実施	【森林整備】 ・夕張市外国有林で間伐等による森林整備を実施 【治山対策】 ・３粁の沢治山工事（山腹工　1.67ha　施工予定）
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく国有林の取組について

北海道森林管理局

■令和3年度　取組内容

・林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。

・R3年度においても、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向けての森林整備（間伐、植栽等）を実施した。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

空知森林管理署　森林整備

引き続き、「流域治水」の取組とも連携し森林整備（間伐、植栽等）及び治山事業を実施予定。

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【夕張川上流地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
森林整備センター	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施	・引き続き流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

（森林整備センター）

■ 令和3年度　取組内容　：　森林整備　間伐実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

間伐実施前

間伐実施後

■ 次年度以降も引き続き計画的に間伐を実施予定

空知総合振興局 産業振興部

- 整備課
- 南部耕地出張所

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【夕張川上流地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【整備課・南部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施	【整備課・南部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度　取組内容
・　農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

農業用水利施設の活用

農業用排水路の整備

水田の貯留機能向上

区画整理

令和4年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを推進

空知総合振興局 産業振興部

・林務課

胆振総合振興局

・森林室

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【夕張川上流地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・滝ノ上地区その2復旧治山工事（夕張市）を実施 ・学校地先緊急予防治山工事（栗山町）を実施 ・常盤ほか保育工事（夕張市）を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）を夕張市、由仁町、栗山町にて実施	【林務課】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【夕張川上流地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
胆振総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【森林室】 ・森林整備（間伐、植栽等）を夕張市、由仁町で実施	【森林室】 ・森林整備（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

治山対策・森林整備の概要について

北海道

■令和3年度　取組内容
・北海道において治山事業により渓間工（治山ダム等）、山腹工（法枠工等）、森林整備（間伐、植栽等）の実施
・北海道、各市町村等において森林整備事業（間伐・植栽等）を実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

渓間工（治山ダム等）の実施状況

山腹工（法枠工等）の実施状況

植栽の実施状況

間伐の実施状況

・治山事業について、継続事業・保育事業については継続的に実施。また森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に事業を実施。
・各市町村等において森林整備（間伐・植栽等）を計画的に実施

幾春別川外地域部会

- 岩見沢市、美唄市、三笠市
  新篠津村、月形町
- 札幌開発建設部
- 札幌建設管理部
- 空知森林管理署
- 北海道水源林整備事務所
- 空知総合振興局
- 石狩振興局

岩見沢市、美唄市、三笠市
新篠津村、月形町

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
岩見沢市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・市民への防災に関する出前講座の実施 ・1日防災学校の実施 ・市民参加による防災訓練の実施 ・市内在住の防災関係有資格者（防災士、防災マスター）を対象とした、会議・研修の実施 ・ハザードマップの更新及び周知 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の策定	出前講座や市民参加による防災訓練については内容等を事前に町会と打合せを実施している。	・市民への防災に関する出前講座の実施 ・市民参加による防災訓練の実施 ・市内在住の防災関係有資格者（防災士、防災マスター）を対象とした、会議・研修の実施	出前講座や市民参加による防災訓練については内容等を事前に町会と打合せを実施する。

【岩見沢市】流域治水に関する取組の実施状況

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■令和3年度　取組内容

出前講座の実施、１日防災学校の実施、防災関係有資格者連絡会議の実施、
ハザードマップの更新と周知、要配慮者利用施設における避難確保計画策定への助言

○出前講座の実施（令和３年度１１月末現在）

市民の防災意識向上のため、ハザードマップの見方や避難するタイミングについての防災講話や、段ボールベッド、段ボール間仕切りなどの避難所で使用する資機材の組立て体験を実施した。

	実施回数	参加人数
町会・自治会	5回	88人
小・中学校	4回	175人
企業・団体	2回	27人
計	11回	290人

出前講座（学校）

出前講座（町会・自治会）

○１日防災学校の実施

児童生徒の災害に対する知識を深めるため、ハザードマップの見方や避難するタイミング、避難所の備蓄品について講話を実施した。

また、体験型学習として段ボールベッド、段ボール間仕切り、簡易トイレの組立て体験を実施した。

日　時：１０月２９日（金）９：１０～１１：５０
会　場：栗沢小学校、栗沢市民センター
参加者：栗沢小学校５年生（２５人）、栗沢中学校１年生（２５人）

１日防災学
（段ボールベッド組立て）

１日防災学校
（段ボール間仕切りの組立て）

○防災関係有資格者連絡会議の実施

市内在住の防災士などの防災関係有資格者を対象に、地域の防災リーダーの育成及び防災関係有資格者と地域との連携強化を図るため、令和元年度より会議を実施している。

今年度からは、より地域の実情に合った活動とするため、市内を5ブロックに分け、地域別の会議を実施するとともに、有資格者の防災に関する知識向上を目指し、講師を招き研修会を実施した。

防災関係有資格者連絡会議
（避難所の運営方法等の研修）

防災関係有資格者連絡会議
（グループ討議）

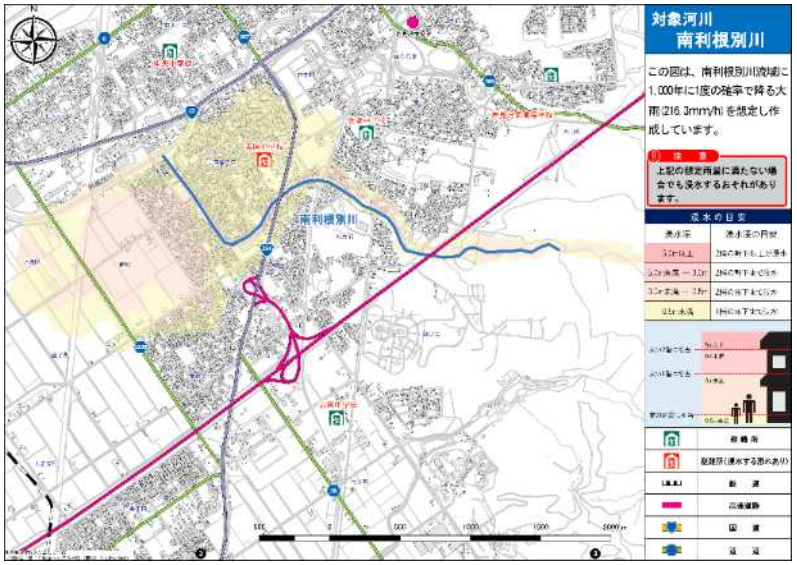
○ハザードマップの更新と周知

これまで、計画規模降雨による洪水浸水想定区域で作成していた、大河川並びに中小河川の洪水ハザードマップ（冊子形式）について、想定最大規模降雨によるものに修正した。

作成したハザードマップは町会・自治会長、要配慮者利用施設に配布するとともに、市ＨＰや広報いわみざわへの掲載により、市民周知を図った。

ハザードマップ作成経過

作成年度	想定降雨	対象河川	備考
平成21年度	計画規模	洪水予報河川、水位周知河川（5河川）	
平成25年度	計画規模	市内の中小河川（8河川）	
平成29年度	最大想定	洪水予報河川、水位周知河川（10河川）	A3判で新規作成
令和　3年度	最大想定	洪水予報河川、水位周知河川（10河川） 市内の中小河川（31河川）	H21,H25作成のハザードマップを最大想定規模へ



洪水ハザードマップ（中小河川）

○要配慮者利用施設における避難確保計画策定への助言

洪水浸水想定区域内に立地する要配慮者利用施設141施設のうち、避難確保計画を策定していない施設に対し、令和３年度中の計画策定に向け、施設への訪問及び想定される浸水深や建物の状況に応じた避難方法等について助言を行った。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
美唄市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・防災訓練の実施（令和4年1月予定） ・1日防災学校（9/29,30実施） ・出前講座 ・コミュニティタイムラインの策定支援 ・地デジ広報による情報発信	自主防災組織等（予定） 市内小学校児童対象 2団体、228人 自主防災組織4団体	・防災訓練を実施予定 ・1日防災学校を実施予定 ・出前講座を実施予定 ・コミュニティタイムラインの策定支援 ・地デジ広報による情報発信	

美唄市の流域治水の取組について

美　唄　市

■令和3年度　取組内容
　・R3年度においては、河川の浚渫、継続実施している1日防災学校、出前講座の実施、自主防災組織におけるコミュニティタイムラインの策定支援、防災ガイドブックの配布等により、「流域治水」の推進を図った。

河川の浚渫

① 10号川河床浚渫・雑木処理
【人力・機械土砂掘削】　数量　170m

【着工前】

【完了】

② 7号川河床浚渫・雑木処理
【機械土砂掘削・雑木処理】　数量　200m

【着工前】

【完了】

美唄市の流域治水の取組について

防災教育の推進

１日防災学校（中央小学校）

・全児童317名を対象に、市防災担当職員による授業を1時限ずつ実施。
・学年にあわせたDVDとワークシートを使用して、防災の知識を深めた。

出前講座（集落支援員等）

・市が委嘱する集落支援員を対象に出前講座を実施し、防災の知識を深め、地域防災力の向上に努めた。
・東中学校全生徒203名を対象に、DVD等による授業を実施した。

美唄市の流域治水の取組について

美　唄　市

自主防災組織の活動支援

コミュニティタイムラインの策定

・共助の取組として、水害時に住民が安全に避難できるよう、地域の防災上の現状や課題を踏まえ、コミュニティの対応方針や避難ルールを定めた「コミュニティタイムライン」の策定を支援している。
・3年度は、自主防災組織4団体が参加するワークショップを2回開催し、タイムラインを策定する作業を進めている。

防災情報の周知

防災ガイドブックの活用

・令和3年3月に作成した防災ガイドブック（ハザードマップ等を掲載）を転入者に配布しているほか、出前講座等に活用している。
・ホームページに掲載している。

地デジ広報（8チャンネル）の活用

・地デジ広報に市の防災情報を掲載することにより、インターネットを利用しない方でも、テレビで情報収集することができる。

令和4年度についても、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、出前講座等により防災教育を推進するとともに、コミュニティタイムラインの策定や防災情報を周知することにより、地域防災力を高めていく。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
三笠市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・岡山地区調整池整備事業（大雨の時など道の駅周辺エリアに冠水する状況が発生していたことから、その上流部において、調整池を整備し、雨水の一時貯留対策を行った。本対策によりR3融雪期において効果を発揮した。） ・萱野川浚渫事業、萱野川バイパス事業（普通河川萱野川については、令和元年8月31日の記録的短時間大雨で溢水し、周辺の畑が水に浸かるという被害が生じたことから、堆積した土砂を浚渫するとともに、バイパス化する工事を実施し、河川の流下能力の向上を図った。） ・R3は川内苗圃の沢川で土砂浚渫を実施		・引き続き河川の浚渫を実施予定。 R4は三笠工業団地内を流れる一号川と調整池で予定し、河川の流下能力の向上と一時貯留効果の向上を図る。	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・自主防災組織の訓練を9月下旬に予定	・10月8日に三笠市立萱野中学校、三笠市立岡山小学校、と合同で地域単位の防災訓練を三笠市立萱野中学校で実施。 （41名参加）	・自主防災組織等に対し、継続的な訓練の実施を促す。	

自主防災組織の訓練の様子

・　萱野地区自主防災組織は、10月8日に、三笠市立萱野中学校、三笠市立岡山小学校と合同で地域単位の防災訓練を三笠市立萱野中学校で実施。（41名参加）

萱野地区自主防災組織の訓練の様子

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

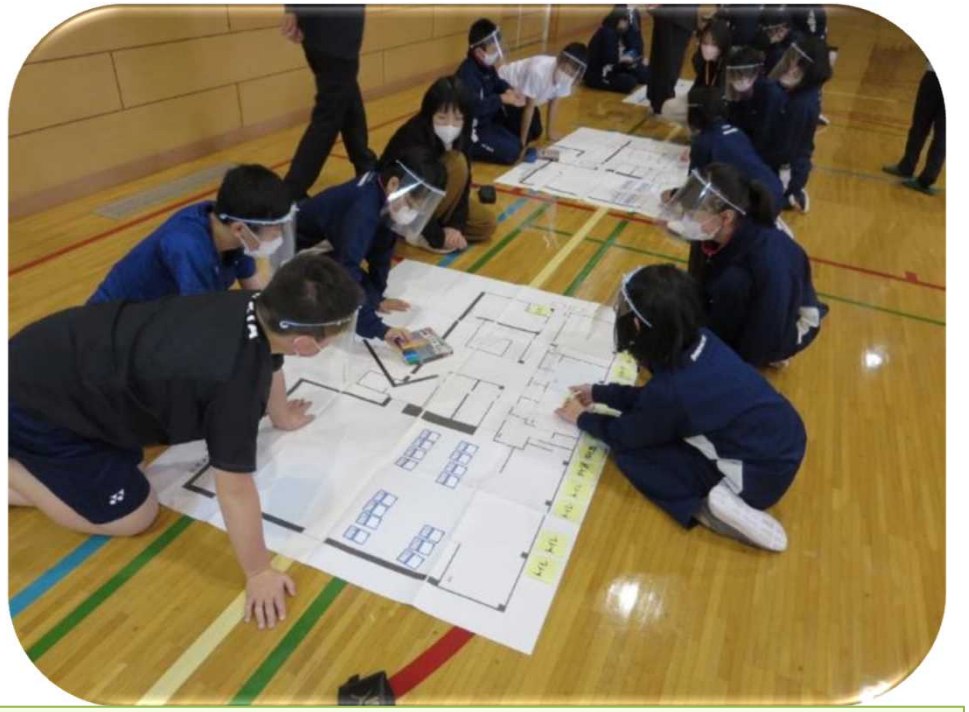
		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
新篠津村	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・中学生を対象にした防災教室 全校生徒を対象に避難所運営訓練Doはぐ実施（10月18日）	新篠津中学校の生徒の保護者による参観	・学校での防災教室 ・住民を対象にした防災訓練	防災訓練は毎年自治区単位で実施するので、訓練対象地区の自治区長と開催時期や内容について調整

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

新篠津村

■令和3年度　取組内容
・新篠津中学校で行われた避難訓練と併せて防災教室を行いました。全校生徒を対象に、避難所運営訓練「Doはぐ」を実施し、防災に対する意識の向上を図りました。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



時間が限られていたため大幅に簡略化しましたが、生徒たちは互いに意見を出し合い、意欲的に取り組んでいました。「住民の要望に応えながら避難所を運営する大変さが分かった」といった声も聞かれ、災害時には避難することがゴールではなく、避難した後の生活も重要だと学んでもらえたと思います。

小中学校での防災教室は次年度以降も継続していきたいと思っています。また、新型コロナウィルスが流行してから2年間、住民を対象にした防災訓練が実施できていないため、このまま感染状況が落ち着いていれば来年度は実施したい。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
月形町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・町内教育施設に対して防災教室を9月に予定 ・タイムラインの読み合わせ、見直しの実施を予定	・9月30日（木）月形中学校全校生徒42名に対し一日防災教室として防災講話、パーティション等の町保有の備蓄品を展示、Doはぐを体験させ避難所運営について体験 ・11月5日（金）岩見沢河川事務所において月形町タイムラインについて読み合わせを実施して見直し箇所の確認を実施した。参加者月形町総務課長補佐、危機管理係主任、防災対策専門員3名	・町内教育施設及び町内行政区に対して防災講話及び防災に関する内容について継続的に実施 ・タイムラインの修正	

一日防災学校の様子

展示品準備

展示用として段ボールベット、パーティション、簡易トイレ、防災毛布、カーペット、エアマット、電池式ランタン、アルファ米各種、保存水を準備
パーティション、段ボールベットの作成は、月形中学校教諭の支援を頂き作成要領を説明しながら実施
生徒以外にも月形中学校教頭以下各教諭及び教育長にも備蓄品について見学

一日防災学校の様子

防災講話

避難訓練終了後、休憩及びパイプ椅子を準備して講話準備
当初、防災講話を実施、内容として東日本大震災、胆振東部地震、H28北海道における大雨災害による被害状況について概ね1つ3分～4分の報道等の動画を紹介

一日防災学校の様子

DoHUG

防災講話終了後、休憩及び机を移動させDoHUGを準備
DoHUGを実施、全学年42名を7名6個班に編制、各班には1年生から3年生を混成させ3年生が各班を統制、その他に各班に教諭を配置して進行を補佐

一日防災学校の様子

展示品見学

DoHUGを継続しながら、2個班づつ展示品の見学を実施
段ボールベットについては、オリンピックで選手村における段ボールベット破壊動画の影響か耐久性に関し非常に関心を持っている生徒が多かった。
また、パーティションについても中に入ってもらい広さについて体感してもらえることができた。

札幌建設管理部

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【建設管理部】 ・利根別川（河道掘削）、東利根別川（河道掘削）、美唄ダム：事前放流、砂防関係施設の整備　等	【建設管理部】 ・利根別川（河道掘削）、東利根別川（河道掘削）、美唄ダム：事前放流、砂防関係施設の整備　等
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【建設管理部】 ・水害対応タイムライン運用の推進	【建設管理部】 ・水害対応タイムライン運用の推進

【札幌建設管理部】流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度 取組内容
　　R3年度においては、継続実施していた利根別川や東利根別川の河道掘削等を実施し、「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

利根別川（河道掘削等）

東利根別川（河道掘削等）

■次年度に向けた予定
　引き続き、優先整備区間において河道掘削等の整備を進める。

空知森林管理署

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト 【幾春別川外地域部会】　各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知森林管理署	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【森林整備】 ・三笠市外国有林でつる切・除伐等による森林整備を実施	【治山対策】 ・西桂沢治山工事（渓間工１基　施工予定）
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく国有林の取組について

■令和3年度　取組内容

・林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。

・R3年度においても、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向けての森林整備（間伐、植栽等）を実施した。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

空知森林管理署　森林整備

引き続き、「流域治水」の取組とも連携し森林整備（間伐、植栽等）及び治山事業を実施予定。

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
森林整備センター	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施	・引き続き流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

（森林整備センター）

■ 令和3年度　取組内容　：　森林整備　間伐実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

間伐実施前

間伐実施後

■ 次年度以降も引き続き計画的に間伐を実施予定

空知総合振興局 産業振興部

- 整備課
- 東部耕地出張所

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【整備課・東部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施	【整備課・東部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

北海道

■令和3年度　取組内容
・　農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを実施。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

農業用水利施設の活用

農業用水利施設の整備

水田の貯留機能向上

区画整理

令和4年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを推進

空知総合振興局 産業振興部

- 林務課
- 森林室

石狩振興局 産業振興部

- 林務課

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・美唄地区保安林緊急改良工事（夕張市）を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）を岩見沢市、美唄市、三笠市、月形町にて実施 【森林室】 ・毛陽町保育工事（岩見沢市）を実施 ・東美唄地区保安林緊急改良工事（美唄市）を実施 ・ポンベツ保育工事（月形町）を実施 ・空知団地育林事業を岩見沢市、美唄市、三笠市、月形町にて実施	【林務課】【森林室】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【幾春別川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
石狩振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・西原地区保育工事（新篠津村）を実施	【林務課】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

治山対策・森林整備の概要について

■令和3年度　取組内容
・北海道において治山事業により渓間工（治山ダム等）、山腹工（法枠工等）、森林整備（間伐、植栽等）の実施
・北海道、各市町村等において森林整備事業（間伐・植栽等）を実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

渓間工（治山ダム等）の実施状況

植栽の実施状況

山腹工（法枠工等）の実施状況

間伐の実施状況

・治山事業について、継続事業・保育事業については継続的に実施。また森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に事業を実施。
・各市町村等において森林整備（間伐・植栽等）を計画的に実施

雨竜川外地域部会

- 滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、
  奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、
  妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、
  沼田町、幌加内町
- 札幌開発建設部
- 札幌建設管理部
- 空知森林管理署
- 北海道水源林整備事務所
- 空知総合振興局
- 上川総合振興局

滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、
奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町、
妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、
沼田町、幌加内町

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
滝川市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	●普通河川の伐開及び浚渫 ・第2熊穴川、第1江部乙川、深沢川、駄馬の沢川		●普通河川の伐開及び浚渫 (R4予定)手島川、南手島川、大曲川、ポンクラ川 (R5予定)足島川、新川、東陽川、宮下川、第2小野川 (R6予定)第2江部乙川、第1熊穴川、第1西大川、銀川 ●雨水管の整備	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	●水害タイムライン運営協議会の開催 ・R3.7.20　スタート会議開催 ・R3.10.18、R3.10.29　コミュニティータイムライン勉強会・避難訓練の実施	・町内会連合会連絡協議会から町内会長等10名が参加 ・幸町第4区地区防災会からのべ36名が参加	●滝川市水害タイムライン運営協議会の開催 ●道の駅たきかわの防災拠点としての整備 （北海道開発局と連携しての整備）	・地域住民の意見を取り込みながら継続的に協議会を開催

滝川市の流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

滝川市

■令和3年度　取組内容

・　R3年度においては、普通河川の伐開、浚渫として、「第2熊穴川」「第1江部乙川」「深沢川」「駄馬の沢川」について実施

・滝川市水害タイムライン運営協議会のスタート会議を７月２０日に開催

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

普通河川の伐開及び浚渫

浚渫状況

伐開状況

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

滝川市水害タイムライン運営協議会の開催

協議会開催状況

地域住民参加状況

次年度以降の予定：普通河川の伐開及び浚渫の実施、水害タイムライン運営協議会の実施、雨水管の整備、道の駅たきかわの防災拠点としての整備

滝川市の流域治水協議会等への住民参加 実施状況について

滝川市

■協議（意見交換）内容

・幸町第四区地区防災会を対象に、コミュニティータイムライン勉強会・避難訓練を実施し、それについての意見交換を行った。

日　　時：10月18日（月）10:00～12:00
会　　場：幸町地区コミュニティセンター
参 加 者：幸町第四区地区防災会地域住民の方々（13名）

◆説明会
- ○タイムラインの概要
- ○10/29避難訓練の実施内容

◆意見交換会
- ○ 情報伝達方法や必要行動の確認
- ○ 避難ルートの確認
- ○ 非常持出品の確認

◆備蓄資材使用体験
- ○ダンボールベット、パーティション等の組立、設置手順及び使用方法の確認

開会挨拶（小林会長）

説明会

意見交換会

意見交換結果取りまとめ

パーティションの組立

ダンボールベットの組立

日　　時：10月29日（金）10:00～12:00
会　　場：（避難訓練）　幸町第四区地区防災会のエリア内
　　（振り返り）　幸町地区コミュニティセンター
参 加 者：幸町第四区地区防災会地域住民の方々（23名）

◆避難訓練
- ○情報連絡
- ○コミュニティセンターまでの避難
- ○避難所での受付

◆振り返り（意見交換）
- ○情報伝達状況の確認
- ○避難行動の確認
- ○非常持出品の確認　など

◆非常食配布

市から会長への避難情報

班長による住民訪問

避難行動要支援者の避難

住民の避難

公園への集合

避難所への避難

■勉強会の開催

・防災への意識向上を目的として、幸町第四区地区防災会を対象にタイムライン勉強会を開催した。
・勉強会では、全国で近年多発する洪水災害について学んでもらった後に、水害時の情報伝達方法、避難ルート及び非常持出品等についての意見交換を行ってもらい、あわせてダンボールベットやパーティーション等の備蓄資材の使用体験も行った。

■避難訓練の開催

・勉強会で確認した情報伝達方法に基づき、実際に電話による連絡を行った上で、避難訓練を実施した。
・当日は、滝川市からの電話連絡を受けた会長から、班長を経て町内会の方々に情報が伝達され、避難する際の持ち物や、戸締まり、避難場所までの道順等について確認した。
・振り返りでは、役員・班長・住民の各々の立場から、班長不在時の対応や避難時にメモ書きを残すことなど、今後の水害時に向けた改善策などについて意見交換を実施した。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
砂川市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・防災意識の啓発活動		・防災意識の啓発活動予定 ・洪水ハザードマップの更新予定	

被害の軽減、早期復旧･復興の為の対策

防災意識の啓発活動

●ネイパル砂川防災キャンプ(R3.8.5)
避難所の生活を体験するイベントを実施。
内容：防災食、段ボールベッドづくり等

●空知太小学校１日防災学校（R3.8.27）
小学生の防災への理解を深めるため実施。
内容：防災かるた、防災○×クイズ、段ボールベッドづくり等

今後の取り組み

今後も、１日防災学校、教育委員会主催の防災教育イベント、ネイパル砂川主催の防災キャンプなど様々な防災関係行事に積極的に協力し、児童生徒に対する防災意識の向上を図る。

被害の軽減、早期復旧・復興の為の対策

防災意識の啓発活動

●様々な手段による広報の実施
　広報すながわ
　地デジ広報
　ＳＮＳ公式アカウントなど

●防災訓練や出前講座等の実施
　防災訓練や希望団体に対する出前講座
　（写真はR3.10.21砂川高校）

今後の取り組み

「自らの命は自ら守る」意識の醸成のため、様々な手段による広報や各種訓練や出前講座を通じて避難行動の理解促進を図る。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
歌志内市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・ペンケ河川改修事業 1）開発期成会への事業促進要望 2）北海道河川環境整備促進協議会を通じて、事業着手促進要望 3）北海道への直接的な事業早期着手要望 4）ヤマメの稚魚放流事業(ソフト事業)を通じ河川への意識付けを行った。 5）地区別市政懇談会による河川整備等の地域要望ヒアリングの実施	今年はコロナの影響により子供参加は見送りましたが、ヤマメの放流事業は継続実施。 （また、住民よりペンケ歌志内川の河道掘削など、河川浚渫や立木伐採の要望を受け、随時対応しているところ）	R3年度同様な取り組みとあわせ、各種河川護岸の整備または、維持管理の取り組み強化	R3年度と同様
	被害対象を減少させるための対策	北海道の土砂災害警戒区域に関する基礎調査終了により、歌志内市全域にわたり、土砂法の指定に向けた回答書を一括提出、市全域の特別警戒区域等の範囲が定められた。	土砂法指定に向けた住民への情報提供及び土砂法指定の有無にかかわらず、避難場所へのルート再確認の周知	災害危険区域と家屋倒壊等氾濫想定区域のおそれのある地域の宅地造成等庁内検討事項の徹底	地区別市政懇談会など、住民への丁寧な説明会の開催など
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・防災ハザードマップ更新、防災説明会等	町内会連合会を中心とした、マップ更新時における説明として、防災説明会とあわせ出前講座等を実施。	R3年度同様な取り組み強化	R3年度と同様

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

歌志内市

■令和3年度　取組内容

・　R3年度においては、継続要望している「ペンケ歌志内川改修事業における各種団体を通じて、早期事業着手の要望、土砂災害警戒区域の全市指定に向けた、住民説明会の開催など、
　また、中央地区自治会・文珠第2町内会におけるﾊｻﾞｰﾄﾞﾏｯﾌﾟ説明会を実施し「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為のソフト対策

・ヤマメ稚魚放流事業

・実施内容：川の大切さをアピールすることを目的に、子ども達に河川への関心を持ってもらう

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

・歌志内市地区別市政懇談会

・実施内容：土砂災害防止法に係る市内一括指定に向けた説明

次年度に向けた予定

・ペンケ歌志内川改修事業に向けた、北海道への早期着手要望。
・土砂災害警戒区域指定後におけるハード対策の要望。
・北海道所管の治山事業による事業促進の要望。

流域治水協議会等への住民参加　実施状況について

歌志内市

■協議内容
- R3年度実施した中村・文珠第2町内会自治会防災教育の実施による説明状況
- 防災ハザードマップ（流域治水プロジェクト等）に関する情報共有

など

文珠第2町内会説明状況写真

中央地区自治会説明状況写真

【地域住民からのコメント住民参加方法について】 歌志内地域防災リーダー候補者(聞き取り)
- ハザードマップを用いた訓練等の作成講習等も実施していければよいと思う。
- 防災リーダー的な存在を増やす必要があると感じた。
- 引き続き情報共有等お願いしたい。

など

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
深川市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・音江地区下水道雨水管の整備着手（実施設計） ・深川市緊急浚渫推進事業 （冬期発注を予定） オサナンケップ川河道掘削 （L＝1,400m） ・災害時における「田んぼダム」活用等に係る検討会議の開催（5/27）	地域要望により実施している事業。	・音江地区下水道雨水管の整備実施（工事） ・深川市緊急浚渫推進事業 （冬期発注を予定） オサナンケップ川河道掘削 （R4 L＝1,100m） ・災害時における「田んぼダム」活用等に係る検討会議の開催	工事前に関係住民に工事概要等説明
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・防災拠点としての市役所新庁舎建設（着工） ・「田んぼダム」の効果等について広報（8月号）掲載 ・防災教室の開催支援・協力 （10回、412人参加） ・自主防災組織の組織化 （町内会連合会代表者への説明及び組織化依頼明） 10/19		・防災拠点としての市役所新庁舎建設 ・防災に関する広報掲載 ・防災教室の開催支援・協力 ・地域における防災訓練の開催支援・協力 ・自主防災組織の組織化	

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

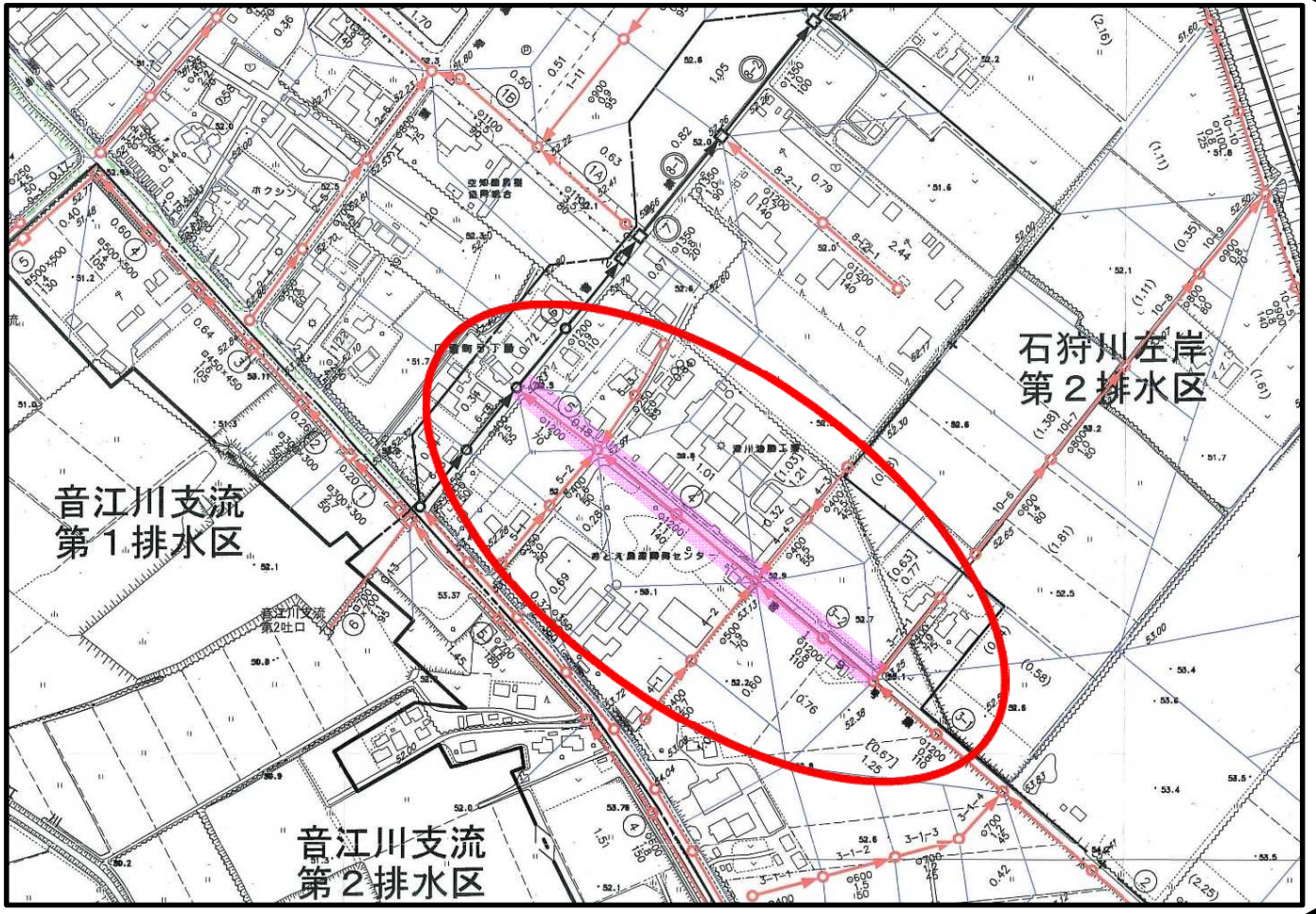
深　川　市

■令和3年度　取組内容
・ R3年度においては、新規事業として音江地区広里工業団地雨水管整備の実施設計に着手。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

・広里工業団地雨水管整備
　浸水想定区域である本地域において、今後の浸水被害を未然に防ぐため道路整備と合わせ雨水管整備を実施するもの。

延長	L=320m
管種口径	HPφ1200
事業予定年度	R3～R5実施



令和4年度工事着手　実施予定延長　L＝150m

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

深　川　市

■令和3年度　取組内容
・ R3年度においては、冬季に浚渫推進事業として、河道掘削を1,400m実施予定。

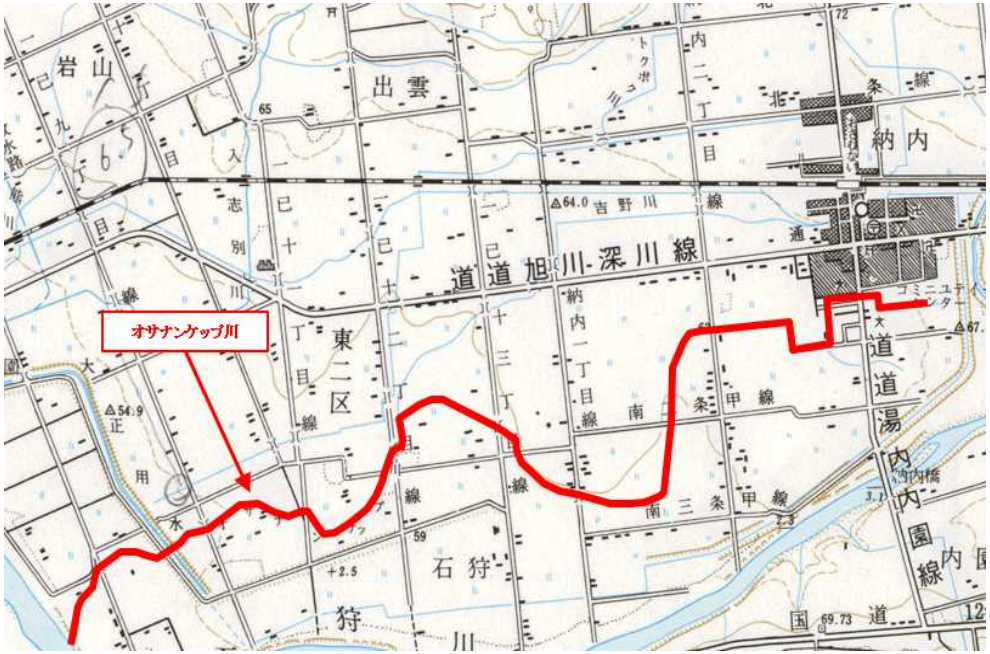
氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

これまでの出水等による土砂堆積により流下能力が低下（流下断面が阻害）しており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にあります。

これまでの地域要望もあることから、石狩川水系オサナンケップ川河道掘削を年次的に実施しています。

土砂掘削状況

オサナンケップ川位置図



○予定工事延長
R3年度　L=1,400m
R4年度　L=1,100m

令和4年度　河道掘削　1，100mを冬季に発注予定。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度　取組内容
・　防災拠点の整備として市役所新庁舎の建設工事を着工。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○防災拠点施設の整備として耐震化や浸水深を想定しつつ、現在の深川市役所敷地内において新庁舎の建設に向け取り組んでおり、今年度、建設工事を着工している。

○基本方針
1. 市民に親しまれ利用しやすい庁舎
2. 市民の安心・安全を守る災害に強い庁舎
3. 人と環境にやさしい庁舎
4. 効率的で安全な庁舎

新庁舎イメージ図

令和3年度着工。令和5年秋供用開始予定

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

深　川　市

■令和3年度　取組内容
・防災情報の周知や提供のため、広報記事の掲載、防災教室開催協力、自主防災組織の組織化に努めた。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○令和元年にハザードマップを改定し、令和２年春に「深川市防災ガイドブック」として、関係者及び市内各世帯に配布しています。

○今年度、田んぼダム活用等に係る検討会議を開催し、関係する団体（土地改良区等）と意見交換を行い、継続的な取り組みを確認。

○防災教育として、出前講座による防災教室等を実施しています。
　令和３年度（11/24現在）
　　防災教室　　９回　　412人参加
　　防災訓練　　なし

○避難所における活動のため、地域自主防災組織の組織化を進めていく必要があり、関係する町内会長等にその必要性と組織化について説明会を開催。

深川市防災ガイドブックによるハザードマップ市街地拡大図

防災情報の周知や提供については、継続的な取り組みとなるよう実施を予定。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
奈井江町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・内水被害に備えるため、町内2地区にある排水機場の維持管理及び水田の貯留機能向上を図るため田んぼダムへの普及啓発の実施		・排水機場の機能が十分に発揮されるよう、適正な維持管理に努める ・パンフレット等で田んぼダムへの普及啓発を継続する	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・防災機能の拠点化（道の駅）に伴う「奈井江町防災機能向上訓練・体験行事in道の駅」の実施及び防災倉庫・資機材の整備 ・1日防災学校の実施（防災ハザードマップの説明、避難所設営体験）	・延べ600名が訓練の見学及び参加 ・生徒60名が参加	・定期的な地区防災訓練・防災セミナーを実施する ・中小河川のハザードマップを作成予定 ・水害に強い庁舎整備（令和6年完成予定） ・学校、教育委員会と連携することにより、防災関係行事に積極的に参加し、児童生徒に対する防災意識の高揚を図る	

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策の概要について

奈井江町

■令和3年度　取組内容
・　自然災害による内水被害に備えるため、町内2地区にある排水機場の維持管理を行い、「流域治水」の推進を図るとともに田んぼダムへの普及啓発の実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

次年度以降の取組
排水機場の機能が十分に発揮されるよう、適正な維持管理に努める。
パンフレット等で田んぼダムへの啓発を継続する。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策の概要について

奈井江町

■令和3年度　取組内容
・　道の駅の防災拠点化に伴い、「奈井江町防災機能向上訓練・体験行事in道の駅」の実施及び札幌開発建設部のよる防災倉庫・資機材の整備

消防団による土のう積み訓練

整備された防災倉庫と資機材使用訓練

次年度以降の取組
定期的な地区防災訓練・防災セミナーの実施及び中小河川のハザードマップを作製予定
水害に強い庁舎整備（令和6年完成予定）

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策の概要について

奈井江町

■令和3年度　取組内容
・　奈井江商業高校1日防災学校の実施（生徒60名が参加）

防災ハザードマップの説明

避難所設営体験及び非常用保存食の試食

次年度以降の取組
学校、教育委員会と連携することにより、防災関係行事に積極的に協力し、児童生徒に対する防災意識の向上を図る。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
上砂川町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・洪水・土砂災害ハザードマップ作成（令和4年1月末完成予定）		・洪水・土砂災害ハザードマップ（概要版）の作成予定 ・防災備蓄品の展示、取扱要領の体験等	・自治会等との事前調整（参加人員等）

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
浦臼町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・ラウネナイ川護岸改修工事		・老朽化した護岸施設の改修工事を継続実施する予定	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・地域防災計画、水防計画の更新			

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
新十津川町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・町管理河川の浚渫事業の実施 ・地元農家等で構成される河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施	河川愛護組合（地元農家）194人	・河川堆積土砂管理計画に基づく町管理河川の浚渫事業の実施 ・河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施	河川愛護組合員（地元農家）200人
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・自主防災組織で行う研修会の支援 今年度、3年に1度開催予定の「総合防災訓練」と新十津川小学校において全校的な取組みとして実施予定であった「1日防災学校」が、新型コロナウイルスによる感染防止の観点から中止となった。 しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきた10月より民生委員会や自主防災組織など、少人数で防災研修を実施している。	・民生委員児童委員合同防災研修会　33人 ・NPO法人ぴあネットワーク防災研修会　17人 ・中央区自主防災組織防災研修会　18人 ・大和区自主防災組織防災研修会　10人	・本町で組織している11自主防災組織において、年1回、防災研修を実施するよう啓蒙を行っている。 また、今年度中止となった「総合防災訓練」及び「1日防災学校」を来年度実施する。 ・令和4年8月28日（日）総合防災訓練（町スポーツセンター） 内容：要支援者の移送訓練、災害時の避難行動、感染症対策を施した避難所設営ほか	1月開催の区長会議連絡協議会において自主防災会長に研修の実施の啓蒙を行っている。 また、総合防災訓練（400名規模）についての参加は、今年度、中止なった時点から来年度の参加を呼び掛けている。

氾濫をできるだけ防ぐ減らす為の対策

新十津川町

■令和3年度　取組内容
・町管理河川の浚渫事業の実施
・地元農家等で構成される河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施

河　川　浚　渫　事　業

河川愛護組合による河川の草刈り

次年度に向けた予定
・河川堆積土砂管理計画に基づく町管理河川の浚渫事業の実施
・河川愛護組合による町内13河川の草刈りの実施

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

新十津川町

確認・提示依頼①
防災教育に関する取組状況、進捗、今後の予定

１．取組状況、進捗

今年度、３年に１度開催予定の「総合防災訓練」と新十津川小学校において全校的な取組みとして実施予定であった「１日防災学校」が、新型コロナウイルスによる感染防止の観点から中止となった。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきた10月より民生委員会や自主防災組織など、少人数で防災研修を実施している。

●10月５日（火）民生委員児童委員合同防災研修会
内容：警戒レベルの変更、災害時登録要支援者制度
●10月24日（日）NPO法人ぴあネットワーク防災研修会
内容：災害時の避難行動、簡易トイレの作成、非常食の備蓄（試食）
●11月６日（土）中央区自主防災組織防災研修会
内容：警戒レベルの変更、感染症対策を施した避難所開設（運営）方法
●11月９日（火）大和区自主防災組織防災研修会
内容：警戒レベルの変更、感染症対策を施した避難所開設（運営）方法

２．今後の予定

本町で組織している11自主防災組織において、年１回、防災研修を実施するよう啓蒙を行っている。

また、今年度中止となった「総合防災訓練」及び「１日防災学校」を来年度実施する。

●令和４年８月28日（日）総合防災訓練（町スポーツセンター）
内容：要支援者の移送訓練、
災害時の避難行動、
感染症対策を施した避難所設営ほか

確認・提示依頼②
市町村庁舎や災害拠点病院における取組状況、進捗、今後の予定

1．取組状況、進捗

本年５月から運用を開始した新庁舎において、停電対策として非常用発電装置を水害対策として3階に設置したほか、災害時において、インターネット環境を確保するため、防災Wi-Fiを庁舎内に設置した。

防災拠点病院は存在しないが、町内の医療機関、福祉施設管理者とは福祉避難所としての協定を締結している施設もあり、連絡体制は確保できている。

庁舎３階に設置した非常用発電装置

庁舎内に整備した防災Wi-Fi

2．今後の予定

職員の防災意識の向上、災害発生時に迅速かつ適切に初動体制を確保できるよう訓練や研修を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症対策を講じた福祉避難所運営や受入体制について共通認識を図っていく必要がある。

確認・提示依頼③
避難行動の理解促進に向けた取組状況、進捗、今後の予定

1．取組状況、進捗

町内にある11の自主防災組織主催による防災研修の支援を平成25年から行っており、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、4組織（46人）に水害タイムラインの説明や感染症対策を実施した避難所運営と合せて避難行動の理解促進に向けた研修会を開催した。

また、新十津川町地域防災マスター連絡会議において、水害タイムラインの確認及び感染症禍での避難及び避難所受入体制の研修を行った。

2．今後の予定

昨年と同様に本年度もコロナ禍ではあるが、2自主防災組織で防災研修を予定しているほか、町内NPO法人のグループホーム入居者に対して避難行動の理解を促進する内容の研修を行っている。

また、来年度は、要支援者の移送訓練、災害時の避難行動を含めた総合防災訓練も実施予定である。

確認・提示依頼④
要配慮者利用施設における避難計画作成・訓練の取組状況、進捗、今後の予定

1．取組状況、進捗

避難確保計画が必要な町内13施設は全て避難計画を作成し、本年度、グループホーム入居者に対し災害時の避難行動について防災研修を行った。

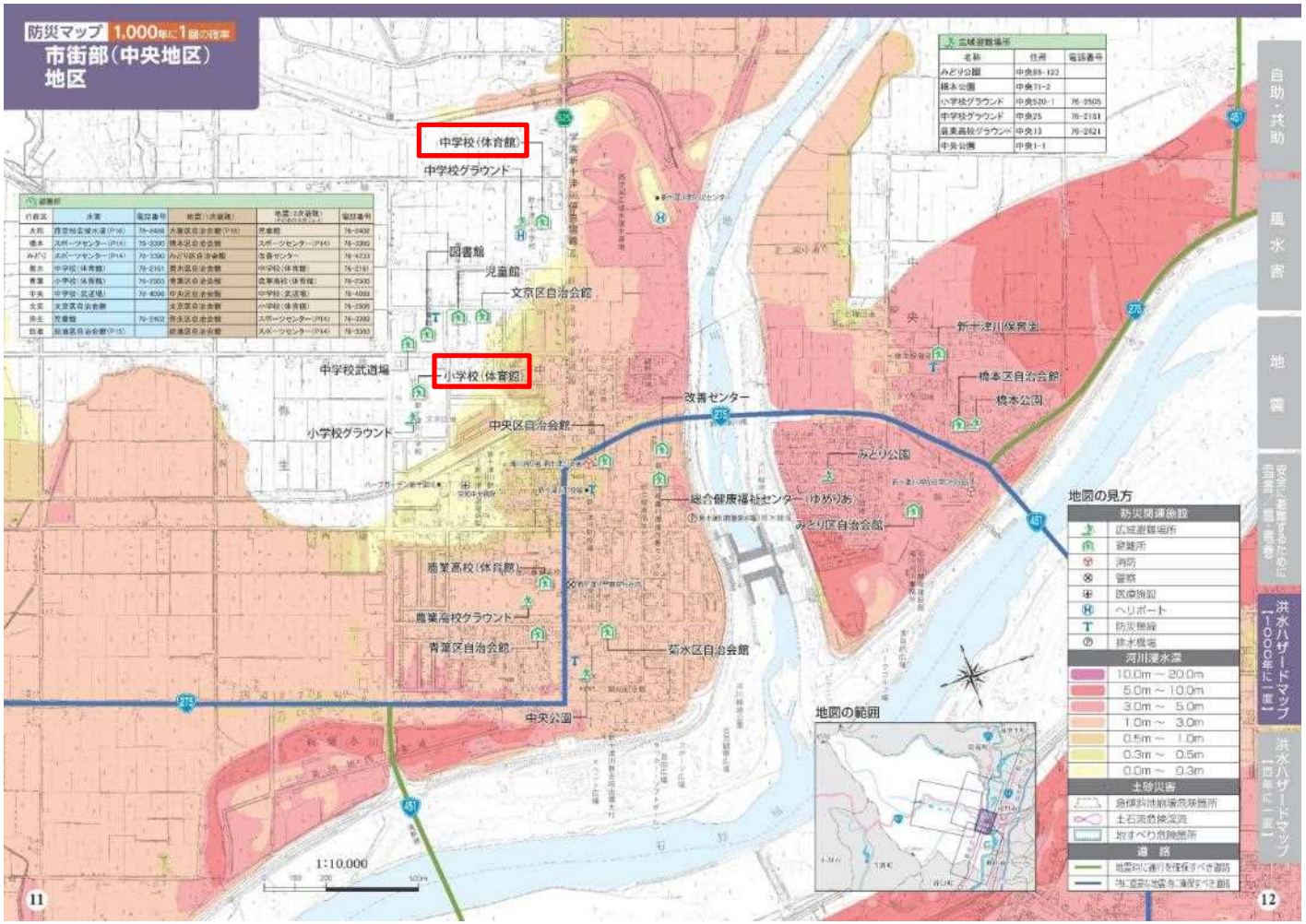
2．今後の予定

避難所確保計画の内容が更新されていない施設もあるため、今後、避難訓練の実施の啓蒙とあわせて、要配慮者利用施設と連携を図っていく。

確認・提示依頼⑤
学校における避難確保計画に関する取組状況、進捗、今後の予定

1．取組状況、進捗
　町ハザードマップ上、
小学校及び中学校については、洪水リスクがない場所（浸水地域外）に建設されているため、水防法に基づく避難確保計画の作成を行っていない。

2．今後の予定　　予定なし



確認・提示依頼⑥
ハザードマップの改良・周知、活用

1．改良・周知、活用

平成30年2月にハザードマップの改良を行い、防災ガイドマップとして全戸配布を行ったとともに、同月、住民を対象とした防災ガイドマップ住民説明会を開催した。

以降、現在まで防災ガイドマップを活用した研修会等を12回、延べ276人に対し実施した。

なお、令和4年度、警戒レベルの修正のほか、感染症対策を盛り込んだ防災ガイドマップの改良を行い、全戸配布を行う予定である。

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
妹背牛町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・普通河川における河道掘削の実施、田んぼダムの実施		・普通河川における河道掘削の継続、田んぼダムの継続	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・防災訓練の実施		・防災訓練の継続	

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

妹背牛町

■令和3年度　取組内容
・令和3年度においては、普通河川の河道掘削及び田んぼダムの推進を図った。また、町が主体となり防災訓練（避難所設営訓練）を実施した。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

普通河川の河道掘削

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

避難所設営訓練

次年度に向けた予定　など
・次年度以降においても、令和3年度同様の対策を実施していく。

流域治水協議会等への住民参加　実施状況について

妹背牛町

■協議内容
・令和3年度に実施した防災訓練で危機対策支援員による防災講話を実施。

【住民参加方法について】
・今年度の防災訓練は一部の住民参加による訓練となったが、今後はより多くの住民が参加した中で実施できれば良いと思った。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
秩父別町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	○農業用施設による流出抑制対策（田んぼダム） ・田んぼダムの取組みを活動計画に位置付けたが、今年度は台風などの災害規模の降雨がなかった。	多面的機能支払事業における活動計画の中に田んぼダムの取り組みを位置づけ、総会で決定し実行している。 ※コロナ禍のため、各地区の人数を制限し開催。	○農業用施設による流出抑制対策（田んぼダム）の継続	多面的機能支払事業における取り組みを構成員参加による総会で決定し継続的に行っていく。
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	○防災訓練の実施（R3.11.20） ・防災行政無線メールの登録方法 ・避難所用間仕切り等の設置・撤去 ・パッククッキングを用いた炊き出し訓練 ○一日防災学校の開催（R3.9.14） ・小中学生を対象に実施 ・避難訓練と消防職員の講評 小学1年生　防災カルタ、紙スリッパ作り 小学2・3年生ワンタッチテント設営 段ボールベッド設営 小学4年生以上　パーテーションの設置 全学年　水の抵抗（流水装置）の体験	町内会自主防災組織等参加者総数42名 秩父別小学校 全学年　100名 秩父別中学校 全学年　48名 小中教職員10名	○防災訓練の実施 ・自主防災組織等の住民意見を踏まえ内容を検討し実施する予定。 ○一日防災学校の開催 ・内容は未定	町内会自主防災組織 小中学校

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について(秩父別町)

■令和3年度　取組内容

・R3年度においては、農業用施設による流出抑制対策（田んぼダム）に取り組んだ他、秩父別町防災訓練を実施し、避難所設置や炊き出し訓練など「流域治水」の推進を図った。

・また、小中学生を対象に1日防災学校を開催し、避難所設営や水害時の水の抵抗を体験する流水装置の体験をするなど災害時の行動等について学びました。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【田んぼダムの取り組み】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【防災訓練で避難用間仕切り設置の様子】

■次年度以降も、田んぼダムによる流出抑制対策や自主防災組織を主体とした地域住民参加による防災訓練を継続的に実施し、流域治水の推進を図っていく。

流域治水協議会等への住民参加　実施状況について（秩父別町）

■協議内容
・R3年度実施した秩父別町防災訓練の実施内容に関して質問や意見、今後に向けた意見交換
・多面的機能支払事業に取り組む秩父別町活動組織構成員による総会時の意見交換
・小中学生を対象に一日防災学校の開催

（防災訓練）
住民参加による防災訓練の開始式

（活動組織総会）
※コロナ禍のため各地区の人数を制限し開催

（一日防災学校）
小中学校全学年で水の抵抗体験（流水装置）

【地域住民からの意見等】※11/20防災訓練における参加者アンケートから
・各町内自主防災組織が結成されて間もないことから、地域の防災組織が構築された段階で避難訓練もすべき。
・防災訓練は大変有効な機会であり、より多くの住民が参加できるよう広めたらよい。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
雨竜町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・町管理河川・幹線排水路の浚渫、伐木、法面補修		・町内幹線排水路の維持補修工事 ・水田の貯留機能向上（田んぼダムへの取り組み）	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策				

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

雨　竜　町

■令和3年度　取組内容
・　町管理河川・幹線排水路の浚渫及び伐木工事を実施し増水時における通水断面の確保を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

令和4年度については幹線排水路の補修工事を実施予定。
土地改良区と連携し田んぼダムの実施に取組む。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
北竜町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	4河川工事発注 ・上田川護岸整備工事 ・更新川護岸整備工事 ・美葉牛川河道整備工事 ・尻無川浚渫工事	地域防災リーダーに町内会連絡協議会会長岩本氏を指名している。 12月開催の町内会長会議の中で報告及び意見をいただく予定	・3河川の護岸整備工事、2河川の浚渫工事を予定	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策				

○北竜町の流域治水の取り組み

1）流域対策

・普通河川の河道掘削及び伐木事業(R2年度～R7年度　8河川予定)

R3年度　尻無川浚渫

着手前

施工状況

完成

・普通河川の護岸整備事業(R2年度～R7年度　7河川予定)

R3完成　上田川護岸整備

R3完成　更新川護岸整備

R2完成　美葉牛川河道整備(R3継続)

○北竜町の流域治水の取り組み

1）流域対策

・排水機場機能回復事業(R5年度～R9年度　碧水排水機場予定)

2）防災対策

・防災無線の更新(R元年度、R2年度　実施済)

・ハザードマップ策せ及び住民周知済

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
沼田町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・石川の沢川法面補修 ・河川台帳整備 ・農業施設（田んぼダム）による雨水貯留		・河川の浚渫、法面補修、河道掘削及び伐木等 ・河川維持管理計画の策定 ・農業施設（田んぼダム）による雨水を貯留	
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・避難所運営マニュアルの作成 ・防災訓練の実施（R4年度に延期） ・防災資材の調達	・避難所運営マニュアルの地域住民との合意形成 （R4年度に延期） ・防災訓練に関する事前調整又は参加 （R4年度に延期）	・防災訓練又は研修の実施（R3年度からの延期を含む。）	・避難所運営マニュアルの地域住民との合意形成（R3年度から延期） ・防災訓練又は研修に関する事前調整又は参加（R3年度からの延期を含む。）

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

沼　田　町

■令和3年度　取組内容（沼田町）
　R3年度においては、東部地区及び西部地区活動組織で農業施設（田んぼダム）による雨水貯留を継続して取り組み、また、町管理河川においては、法面の補修及び計画的な河川管理に向けた河川台帳の整備を行い、「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

・石川の沢川法面補修

【法面補修　施工前】

【法面補修　施工後】

・河川台帳整備

・農業施設（田んぼダム）による雨水貯留

【貯留時の状況（令和3年6月4日　全国的に荒れた天気）】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

・避難所運営マニュアルの作成　・防災訓練の実施（R4年度に延期）　・防災資材の調達

【次年度に向けた予定】（沼田町）
　河川の浚渫・法面補修・河道掘削及び伐木等、河川維持管理計画の策定、農業施設（田んぼダム）による雨水貯留、防災訓練又は研修の実施など、今後も状況に応じた流域治水事業に取り組む。

流域治水協議会等への住民参加　実施状況について

沼　田　町

■令和3年度　住民参加の実施状況（沼田町）

※コロナ禍のためR3年度中の実施を見送り、R4年度に延期し実施することとした。

- R3年度に作成した避難所運営マニュアルの地域住民との合意形成については、R4年度に延期する。
- 防災訓練に関する事前調整又は参加については、R4年度に延期する。

【地域住民からのコメント住民参加方法について】（沼田町）
　町内行政区長会議において、避難所運営マニュアルに基づく理解と運用について合意を図るとともに、防災訓練の実施に向け事前に意見を求めながら、参加を促していく。（R4年度に延期）
など

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
幌加内町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	－		－	
	被害対象を減少させるための対策	－		－	
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・道の駅周辺施設に防災資機材を新たに整備 ・防災意識の啓発活動（洪水・大地震タイムラインの配布）		洪水ハザードマップの更新（予定）	

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

幌加内町

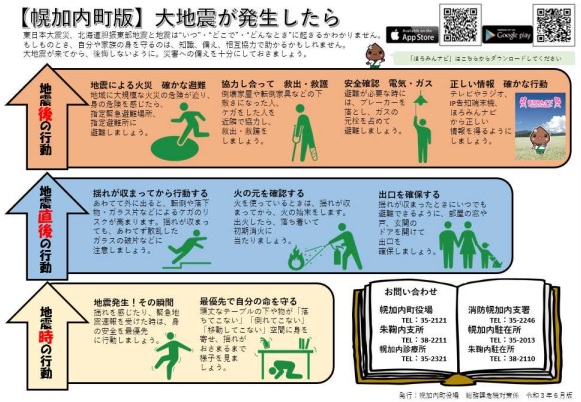
■令和3年度　取組内容
・　R3年度においては、道の駅周辺施設に防災資機材の設置および住民向けに災害時のタイムラインを配布し、「流域治水」の推進を図った。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

・当初、道の駅に防災倉庫を設置し早期復旧体制の整備を図るとしていたが、本町は豪雪地域であるため、除雪問題を考慮し、周辺施設内において防災資機材を新たに配置することで災害拠点の整備を図った。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

・洪水・大地震のタイムライン作成し、災害時の被害軽減を図るため町民へ6月に配布した。



避難勧告・避難指示の一本化や避難所情報修正のため、洪水ハザードマップの更新を予定。

札幌建設管理部
旭川建設管理部

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【建設管理部】 ・入志別川（河道掘削）、石山川（河道掘削）、ラウネ川（河道掘削）、砂防関係施設の整備　等	【建設管理部】 ・入志別川：河道掘削、石山川：河道掘削、ラウネ川：河道掘削、砂防関係施設の整備　等
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	【建設管理部】 ・水害対応タイムライン運用の推進	【建設管理部】 ・水害対応タイムライン運用の推進

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
上川総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【建設管理部】 ・雨竜川河道掘削	【建設管理部】 ・雨竜川河道掘削
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

【札幌建設管理部】流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度 取組内容
　R3年度においては、継続実施していた入志別川やラウネ川などの河道掘削等を実施し、「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

入志別川（河道掘削等）

ラウネ川（河道掘削等）

■次年度に向けた予定
　引き続き、優先整備区間において河道掘削等の整備を進める。

空知森林管理署

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】　各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知森林管理書北空知支署	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【森林整備】 ・北竜町外国有林で間伐・植付等による森林整備を実施 【治山対策】 ・北竜町国有林にて治山工事（谷止工１基　完成予定） ・幌加内町国有林にて治山工事（床固工１基、谷止工１基　完成予定） ・雨竜川下流域調査実施	【森林整備】 ・深川市外国有林で間伐・植付等による森林整備を実施 【治山対策】 ・北竜町国有林にて治山工事（床固工１基　施工予定）
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく国有林の取組について

■令和3年度　取組内容

・林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。

・R3年度においても、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向けての森林整備（間伐、植栽等）及び治山事業を実施した。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

北空知支署　森林整備

北空知支署　治山事業

引き続き、「流域治水」の取組とも連携し森林整備（間伐、植栽等）及び治山事業を実施予定。

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
森林整備センター	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施	・引き続き流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

（森林整備センター）

■ 令和3年度　取組内容　：　森林整備　間伐実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

間伐実施前

間伐実施後

■ 次年度以降も引き続き計画的に間伐を実施予定

空知総合振興局 産業振興部

- 整備課
- 東部耕地出張所
- 北部耕地出張所

上川総合振興局 産業振興部

- 整備課
- 上川中部整備室

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【整備課・東部耕地出張所・北部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施	【整備課・東部耕地出張所・北部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

北海道

■令和3年度　取組内容
・　農業農村整備事業により排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

農業用排水路の整備

農業用水利施設の活用

区　画　整　理

水田の貯留機能向上

令和4年度も引き続き、農業農村整備事業による排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理などを推進

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
上川総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【整備課】 ・関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。 【上川中部整備室】 ・農業農村整備事業の実施（農地の整備による貯留機能向上：田んぼダムの取組の基盤を整備）	【整備課】 ・関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

北海道

■令和3年度　取組内容
・　農業農村整備事業の実施（農地の整備による貯留機能向上：田んぼダムの取組の基盤を整備）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

区画整理

施工前

施工後

令和4年度については、関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。

空知総合振興局 産業振興部

- 林務課
- 森林室

上川振興局 産業振興部

- 林務課

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・江部乙地区小規模治山工事（滝川市）を実施 ・鶉地区復旧治山工事（上砂川町）を実施 ・寺の沢復旧治山工事（砂川市）を実施 ・空知管内石狩川流域機能強化・老朽化対策工事（砂川市）を実施 ・川村地先小規模治山工事（新十津川町）を実施 ・更新保育工事（沼田町）を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）を、滝川市、砂川市、深川市、奈井江町、浦臼町、新十津川町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町、上砂川町、歌志内市にて実施 【森林室】 ・温泉地先復旧治山工事（歌志内市）を実施 ・神楽岡地区復旧治山工事（歌志内市）を実施 ・吉住保育工事（深川市）を実施 ・トップ保育工事（新十津川町）を実施 ・空知団地育林事業を滝川市、歌志内市、深川市、奈井江町、上砂川町、浦臼町、新十津川町にて実施	【林務課】【森林室】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【雨竜川外地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
上川総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・森林整備事業（間伐、植栽等）を幌加内町にて実施	【林務課】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

治山対策・森林整備の概要について

北海道

■令和3年度　取組内容
・北海道において治山事業により渓間工（治山ダム等）、山腹工（法枠工等）、森林整備（間伐、植栽等）の実施
・ 北海道、各市町村等において森林整備事業（間伐・植栽等） を実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

渓間工（治山ダム等）の実施状況

植栽の実施状況

山腹工（法枠工等）の実施状況

間伐の実施状況

・治山事業について、継続事業・保育事業については継続的に実施。また森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に事業を実施。
・各市町村等において森林整備（間伐・植栽等）を計画的に実施

空知川地域部会

- 芦別市、赤平市、富良野市
  上富良野町、中富良野町、南富良野町
- 札幌開発建設部
- 札幌建設管理部
- 空知森林管理署
- 上川南部森林管理署
- 北海道水源林整備事務所
- 空知総合振興局
- 上川総合振興局

芦別市、赤平市、富良野市
上富良野町、中富良野町、南富良野町

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【空知川地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民参加状況	次年度以降の取り組み（予定）	地域住民参加状況
芦別市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	―	―	―	―
	被害対象を減少させるための対策	①重要水防箇所合同点検の参加 ・令和3年8月5日実施	―	①重要水防箇所合同点検の参加を継続	―
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①防災ガイドブック配布 ・4月、全戸配布 ②新たな避難情報等の周知 ・ポスター、チラシ、HP等 ③水害ハザードマップの修正、公開 ・常磐・福住地区の想定最大規模を一部修正 ④芦別市水防計画の修正 ・見直し中 ⑤1日防災学校の協力 ・11月24日　芦別小学校 ⑥防災訓練 ・職員に限定した訓練の実施 ⑦防災講話の実施 ・11月　8日　三角山地区町内会 ・12月17日　女性大学	―	①防災ガイドブック配布 ・転入者を主体に配布を継続 ②新たな避難情報等の周知 ・転入者を主体にチラシ等の配布を継続 ③水害ハザードマップの修正、公開 ・修正等の継続 ④芦別市水防計画の修正 ・修正を継続 ⑤1日防災学校の協力 ・積極的な協力を継続 ⑥防災訓練 ・住民の参加（少数）による個別訓練を予定 ⑦防災講話 ・積極的な講話の継続	―

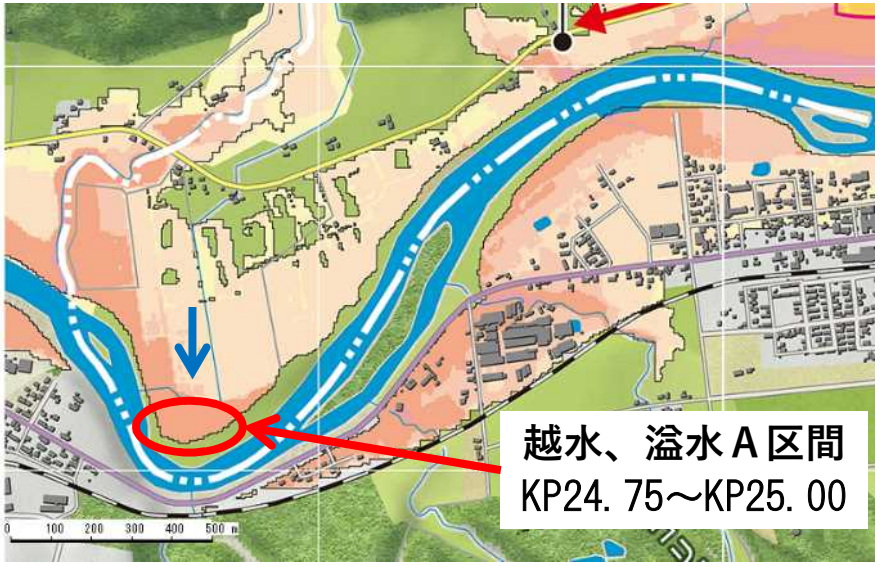
芦別市

芦別市における流域治水の各種取組の概要

【被害対象を減少させるための対策】

○重要水防箇所合同点検の参加

空知川河川事務所による重要水防箇所の合同点検に参加（令和３年８月５日）



■次年度への取組：参加を継続

芦別市

【被害の軽減、早期復旧・復興のための対策】

①防災ガイドブックを配布

・令和３年４月、全戸配布、転入者に配布
・平成２７年度版（ガイドブック）及び
平成２８年度版（ハンドブック・土砂災害）
を修正
・マイタイムラインの追加
・情報の入手要領を充実させた。

■次年度への取組：転入者を主体に配布を継続

②新たな避難情報等の周知

・避難情報に関するガイドライン（令和３年５月２０日）に基づき配布・周知
・チラシを全戸配布
・指定避難所・公共施設等にポスターを掲示
・ＨＰ・ラインに掲載し周知

■次年度への取組：転入者を主体にチラシ等の配布を継続

芦別市

③水害ハザードマップの修正・公開

・浸水想定区域（想定最大規模）を一部修正し、ＨＰで公開
・写真図から標準地図へ
・浸水深をわかりやすく、凡例を追加
・対象地区へ配布（常磐・福住地区）

■次年度への取組：修正の継続

芦別市

④芦別市水防計画の修正

・現在見直し中

■次年度への取組：修正を継続

⑤１日防災学校の協力

・令和３年１１月２４日　芦別小学校

・協力内容

１～２年生：防災かるたの貸出
３年生　　：新聞紙スリッパの作成等
４年生　　：芦別市の防災とマイタイムラインの作成
５年生　　：非常食調理実習体験
６年生　　：段ボールベッド体験

・３～６年生を担当

■次年度への取組：積極的な協力を継続

⑥防災訓練

・職員に限定した訓練（災害対策本部設置訓練、避難所開設準備訓練等）の実施

■次年度への取組：住民の参加（少数）による個別訓練（安否確認訓練、情報伝達訓練等）
避難所における新型コロナウイルスの感染症対策

⑦防災講話の実施

・令和３年１１月　８日　三角山地区町内会
・令和３年１２月１７日　女性大学

■次年度への取組：積極的な講話の継続

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【空知川地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
赤平市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策 ・ハザードマップの周知および住民の水災害リスクに対する理解促進の取組 （防災マップを活用した地域住民への出前講座の実施） ・市民等を対象とした水防教育、防災意識の啓発活動の継続実施 （市内小学校における一日防災学校の実施）	一日防災学校 （児童51人参加）	ハザードマップの周知および住民の水災害リスクに対する理解促進の取組及び、市民等を対象とした水防教育、防災意識の啓発活動の継続実施	地域との講話等調整

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

赤　平　市

■令和3年度　取組内容
・ R3年度においては、市民等を対象とした水防教育、防災意識の啓発活動として市内茂尻小学校で11月2日一日防災学校を実施して水防教育及び流域治水の推進を図った。

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

●実施内容
▸1，2年生
・災害の種類などについて学ぶ。
・防災かるたを通じて水害などの災害について学ぶ。

▸3，4年生
・災害の種類などについて学ぶ。
・災害発生時の避難について学ぶ。

▸5，6年生
・災害の種類などについて学ぶ。
・災害発生時の避難所生活について学ぶ。

次年度に向けて、ハザードマップの周知および住民の水災害リスクに対する理解促進の取組及び、市民等を対象とした水防教育、防災意識の啓発活動の継続実施

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【空知川地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
富良野市	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	発電機、排水ポンプ等の配置計画について再確認及び資機材の機能点検	なし	・水防訓練等への参加 ・保有資機材の点検	なし
	被害対象を減少させるための対策	堤内排水路の継続的な整備	なし	堤内排水路の継続的な整備	なし
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・R3．5新たな避難情報等についてHP等を通じて住民への周知 ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進 ・R3．8富良野市地域防災計画一部改定 ・地域住民に対して4回の出前講座により、風水害に関する防災講話を実施 ・樹海小・中学校の生徒を対象とした一日防災学校を支援して風水害に関する講話を実施	・約80名の市民が参加 ・約50名の教職員・生徒が参加	・R4富良野市防災訓練を予定 ・富良野市防災ガイドマップ更新予定 ・継続的な出前講座等の実施 ・「一日防災学校」等の支援	未定

富良野市

■令和3年度　取組内容

・　地域住民に対して4回の出前講座を実施して風水害に関わる講話を実施するとともに、樹海小・中学校の生徒を対象とした一日防災学校に参加して風水害に関する講話及び避難所開設訓練を支援

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

富良野市

■令和3年度　取組内容

・　地域住民に対して4回の出前講座を実施して風水害に関わる講話を実施するとともに、樹海小・中学校の生徒を対象とした一日防災学校に参加して風水害に関する講話及び避難所開設訓練を支援

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

次年度においても、風水害に係る被害軽減の一環として、適時に出前講座等を実施して防災講話等により防災意識の啓発を図る。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

上富良野町

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
上富良野町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①新たな避難情報等について住民への周知（町広報誌配布6/25、町ホームページ掲載5/21） ②町広報誌配布9/10（大雨に備えたハザードマップの確認、避難場所の確認等） ③避難情報の変更に伴うタイムラインの修正 ④防災士スキルアップ研修会7/18（気象情報の基礎と利用方法（旭川地方気象台）） ⑤出前講座10/12（ハザードマップで災害リスクの確認） ⑥防災行政無線デジタル化整備　R3～R4	④防災士スキルアップ研修会14名参加 ⑤出前講座（社会福祉協議会）37名参加	・ハザードマップ等について町広報誌での住民周知 ・出前講座による防災教育 ・防災行政無線デジタル化整備R3～R4 ・町立病院建設 R4実施設計、R5工事着工、R7竣工	住民連合会会議での意見交換（訓練、研修等の内容など）

○住民説明実施状況

・流域治水プロジェクトに関する情報共有

・町が実施している事業について説明、意見交換

令和３年１１月１７日（水）13時30分～14時00分

上富良野町住民会連合会

会長　巽　俊明　氏

【取組みに対する意見】

・住民周知の取組み

制度改正等の情報について今後も周知をお願いする。

・防災教育の取組み

町民は十勝岳の方は気にしていると思うが、洪水周知についてもぜひ取り組んでほしい。

・防災対策の取組み

病院の建替えは浸水対策を講じてほしい。

【上富良野町】

被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【住民周知の取組み】

①災害対策基本法の改正に伴う、避難情報の変更について、ホームページへの掲載(5月21日掲載)及び、町広報誌において周知した。(6月25日発行)

②大雨に備えたハザードマップの確認、避難場所の確認等について町広報誌において周知した。(9月10日発行)

6月25日号

9月10日号

台風 ・ 豪雨

大雨災害に備える

秋にかけて、大雨による河川の氾濫や土砂災害の危険性が高まります。いざというときに適切な避難行動が取れるよう「自宅の災害リスク」と「取るべき行動」を確認しましょう。

問合せ　総務課基地調整・危機管理室　☎6980

1 上富良野町ハザードマップの確認

大雨による洪水が起きた場合、自宅やその周辺がどのような状況になるかを確認しておきましょう。

上富良野町洪水ハザードマップ

2 取るべき行動を確認

ハザードマップで確認した自宅の災害リスクをもとに「避難行動判定フロー」で、大雨災害のときに自分が取るべき避難行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

家がある場所に色が塗られていますか？

はい → 災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

いいえ → **原則、避難不要です。**
※ただし、色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住いの方は、町からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください

安全な場所に住んでいる親戚や知人はいますか？

はい → 安全な親戚や知人宅に避難しましょう。
（日頃から相談しておきましょう）

いいえ → 町で開設している指定緊急避難場所に避難しましょう。

例外 → ■浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊、崩落してしまう恐れの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水や食料などの備えが十分にある場合は、自宅に留まり安全確保をすることも可能です

3 避難場所の確認

危険な場所を把握したら、災害時に慌てることがないよう、事前に避難先を決めておきましょう。

指定避難所へ

非常持出品に加えて、感染症対策用品も持参しましょう。
・マスク　・消毒液
・体温計　・スリッパなど

自宅の上階へ

土砂災害の恐れがない区域では、浸水が起きても建物の上階へ退避することが可能です。水位が引くまで耐えられる分の水や食料を準備しておきましょう。

親戚・知人宅へ

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

非常持出品・備蓄品の一例

4 各種防災情報を確認

※令和3年5月から発令される避難情報が変更されています

災害発生の危険がある場合、町は適切に避難行動を取っていただくため、次のとおり防災無線などにより避難指示などの情報を発令します。それぞれの情報に応じて適切な行動を取ってください。

緊急レベル3
高齢者等避難
・高齢者などの避難行動に時間を要する方は、避難を始めましょう

緊急レベル4
避難指示
・速やかに非難を始めましょう
・外に出るのが危険と感じたら、建物内の安全な場所に避難しましょう

緊急レベル5
緊急安全確保
・災害発生が切迫、発生している状況
・極めて危険な状況。早急に命を守る行動を取りましょう

●災害の危険が迫ったら…
テレビ、ラジオ、スマホなどで、天気や避難情報の確認をします。収集した情報を基に、早めに避難を始めましょう。

こちらも確認

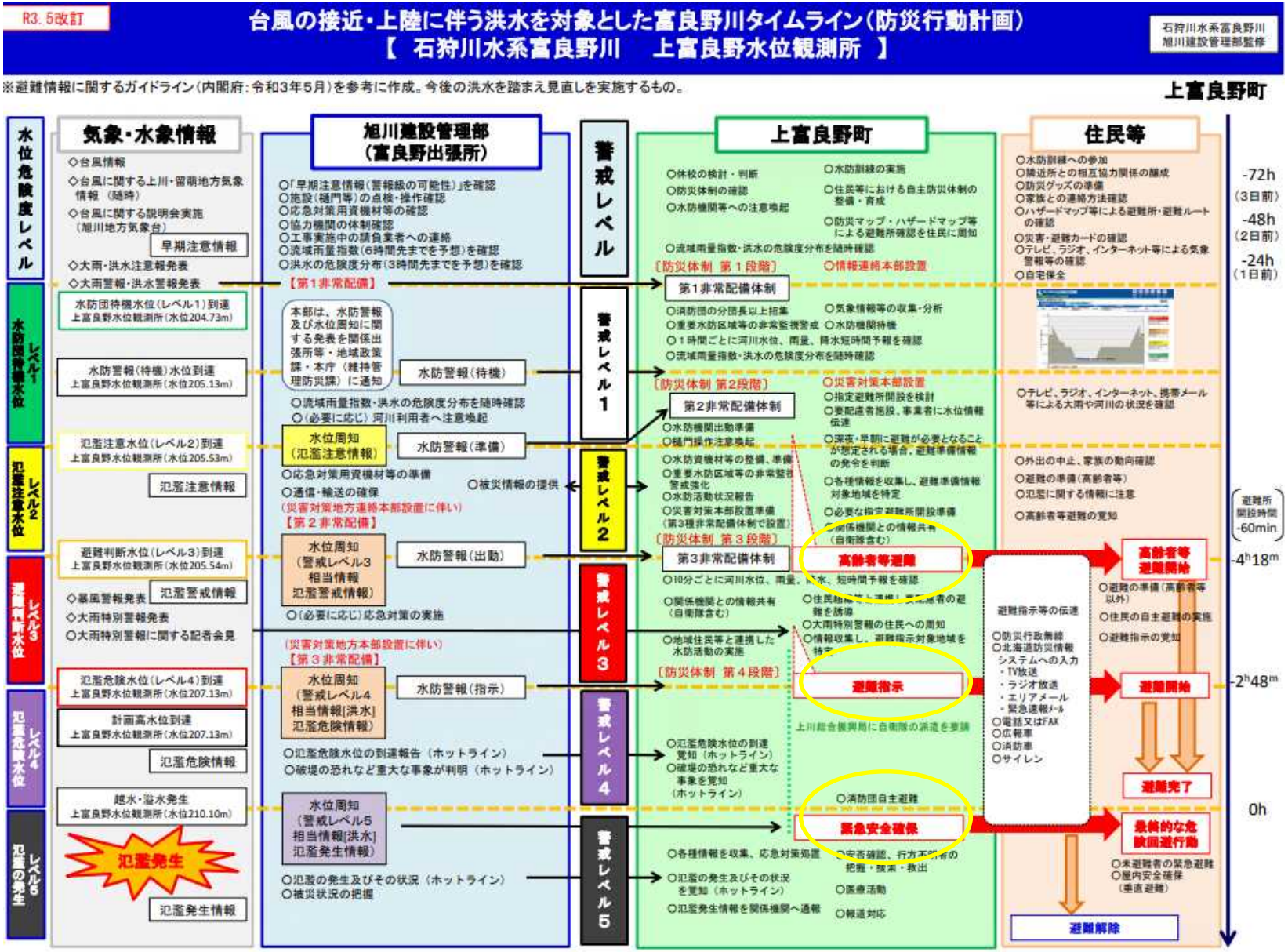
気象庁（キキクル）

北海道防災ポータル

川の防災情報危機管理型水位計

【住民周知の取り組み】

③避難情報の変更に伴うタイムラインの修正



【防災教育の取り組み】

④防災士スキルアップ研修会

旭川地方気象台 辻水害対策気象官を講師に「気象情報の基礎と利用方法」（7/18 参加者14名）

本日の主な内容

■災害とは
- そもそも災害とは
- 上富良野町で過去に発生した災害
- 気象台は防災機関？

■北海道で大雨となりやすい気圧配置
- 北海道で大雨となりやすい気圧配置
- 過去の大雨事例

■防災気象情報と求められる行動
- 気象情報の説明をする前に
- 早期注意情報（警報級の可能性）
- 特別警報・警報・注意報
- 警戒レベルと防災行動
- キキクル（危険度分布）の活用
- 5段階の警戒レベル警戒レベル相当情報
- 情報の入手方法

■令和３年出水期からの防災気象情報の改善点
- 気象庁ホームページリニューアル
- 記録的短時間大雨情報の改善
- 顕著な大雨に関する情報（線状降水帯）
- 指定洪水河川予報の予想時間延長
- 大雨警報（浸水害）・洪水警報等の除外設定
- 熱中症アラートの提供開始

■その他
- 自己学習教材のお知らせ

【防災教育の取り組み】

⑤出前講座

社会福祉協議会ほっとカフェにおいて、ハザードマップを使い災害リスクの再確認等（10/12参加者37名）

ちょ としたお話「災害は忘れたころにや てくる」～備えあれば憂いなし～
講師：上富良野町役場危機管理員　櫻井　友幸　氏

雨の災害、ハザードマップ、災害時の行動について、災害時どこに避難するの？避難場所の確認、川の防災情報、ハザードマップに記載されている情報を確認しましょう。などのお話をされていました。皆さん真剣に聞き入っていました。

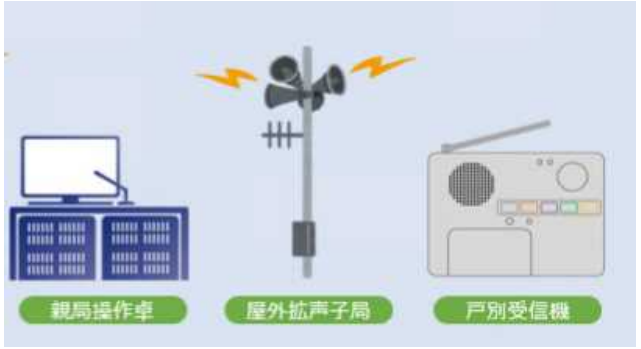
【防災対策の取り組み】

⑥防災行政無線デジタル化整備R3～R4

災害時の情報手段となる防災行政無線について、アナログからデジタルへ整備する。

・親局、子局、戸別受信機

・移動系無線（車載型、携帯型）



⑦町立病院整備

町立病院の建替え（水害を想定した施設整備）

R3基本設計

R4実施設計

R5工事着工

R7竣工

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【空知川外地域部会】各種対策のフォローアップ

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
中富良野町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策		特記事項なし		
	被害対象を減少させるための対策		特記事項なし		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	①令和3年度防災訓練の実施 ②防災教育の実施 ③要配慮者利用施設の避難確保計画更新	①住民120人が参加（消防団（水防団）参加） ②－1　小学校5年生が「川の災害」について学ぶ ②－2　老人会約60名が防災出前講座を受講 ③各施設の管理者等が計画を更新し、従業員等に周知	①防災訓練への住民、消防団の参加を継続 ②－1　講師について道、関係機関（河川事務所、気象台等）と調整 ②－2　防災出前講座等の積極的な実施 ③要配慮者利用施設の避難確保計画の更新を継続、新規施設との連携	①自主防災会長、消防団長との事前調整 ②－1　学校との事前調整 ②－2　町内各団体との事前調整 ③施設管理者等との事前調整

中富良野町の取組状況概要（1／2）

被害の軽減、早期復旧・復興の対策 「水防体制の強化、防災訓練の実施」 【ソフト対策】

①令和3年度防災訓練の実施

・災害対策本部訓練、避難所開設訓練、避難訓練を水害想定で実施しました。
・流域タイムラインを活用した水防活動の連携について、水防団（消防団）や関係機関が参加して確認しました。
・水害時の高齢者等の避難要領について、住民が参加して確認しました。

消防団・消防署・警察・自衛隊等の機関が参加しました。

避難所の開設を、地域住民と役場職員が協力して行いました。

「高齢者等避難」により避難訓練を行いました。

福祉車両を使って要配慮者の避難要領を確認しました。

中富良野町の取組状況概要（2／2）

被害の軽減、早期復旧・復興の対策 「住民等への周知・教育」 【ソフト対策】

②－1 防災教育の実施

〇小中学生を対象とした防災教育を実施しました。

〇小学校の一日防災学校では、各学年で防災の要素を取り入れた授業を行いました。

毎年5年生は、「川と災害」について学んでいます。

講師（旭川地方気象台）による授業では、コロナ感染症対策のため、オンラインにより行いました。

被害の軽減、早期復旧・復興の対策 「住民等への周知・教育」 【ソフト対策】

②－2 高齢者の避難行動の理解に向けた取組の推進

〇敬老会等への防災出前講座を積極的に行いました。

〇流域タイムラインに応じた行動への準備や避難情報「高齢者等避難」への対応について考えました。

町政懇談会に併せて、防災出前講座を行いました。

流域タイムラインをもとに、町内の河川災害を想定したマイタイムラインについて確認しました。

流域治水協議会等への住民参加　実施状況について

中富良野町

■協議内容（中富良野町）
- 流域治水協議会への住民参画要領に関する認識統一、意見聴取
- 令和3年度町防災訓練（水害想定）の成果に関しての意見交換

打合せの様子

打合せの資料

【地域住民（自主防災会連合会）からのコメント】
〇流域治水協議会への住民参画要領について
- 自主防災組織連絡協議会の場を用いた流域治水に関する意見交換を実施・発信していく。
- 連携においては、防災マスターを取得した住民の活動（効果的な活用）を重視していきたい。
- 町内河川の水位監視システムの強化などを要望できるのか確認したい。

流域治水プロジェクトに基づく各種対策のフォローアップ（地域住民参加状況含む）

南富良野町

		R3年度取り組み内容	地域住民 参加状況	次年度以降の 取り組み（予定）	地域住民 参加状況
南富良野町	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策				
	被害対象を減少させるための対策				
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	・新たな避難情報を含む防災チラシ(A3版)の配布 ・防災かわら版(1回／四半期)の配布 ・ダム下地区の高齢者を対象とした防災講習 ・千里大学学生を対象とした空知川流域の治水設備等を確認するフィールドワーク ・ダム下地区の町民参加防災訓練（11/27実施）	・全戸配布 ・全戸配布 ・地区住民15名参加 ・学生20名参加 ・地区住民64名参加	・防災かわら版の配布を継続 ・定期的な防災講習を継続 ・町民参加による防災訓練(2地区／年)を継続	

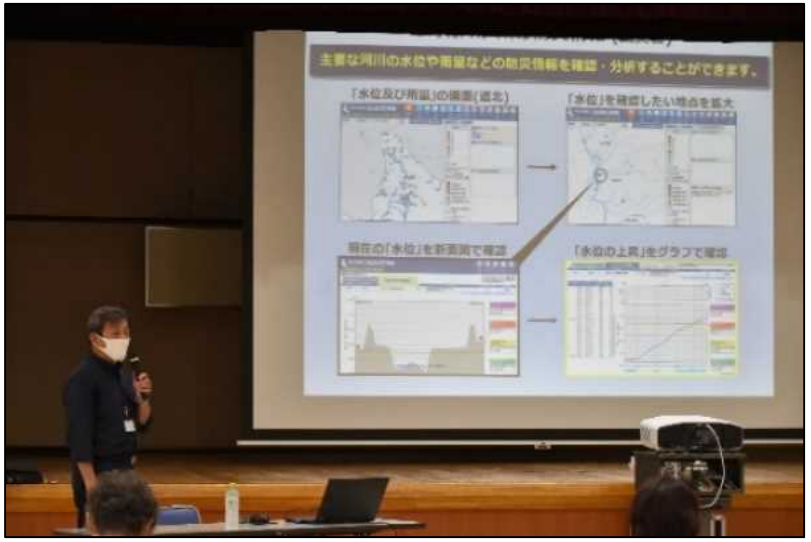
流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

南富良野町

■令和3年度　取組内容

令和3年度は、空知川上流となる落合～幾寅地区において「千里大学治水設備等確認フィールドワーク」を、ダム下となる金山・下金山地区において「長寿クラブ防災講習(金山)」、「西小学校防災教育(下金山)」及び「町民参加防災訓練(下金山) 11/27実施」を、それぞれ実施し、流域治水に関する理解・認識の促進を図った。

千里大学防災フィールドワーク「整備された治水設備等の実地確認」の様子

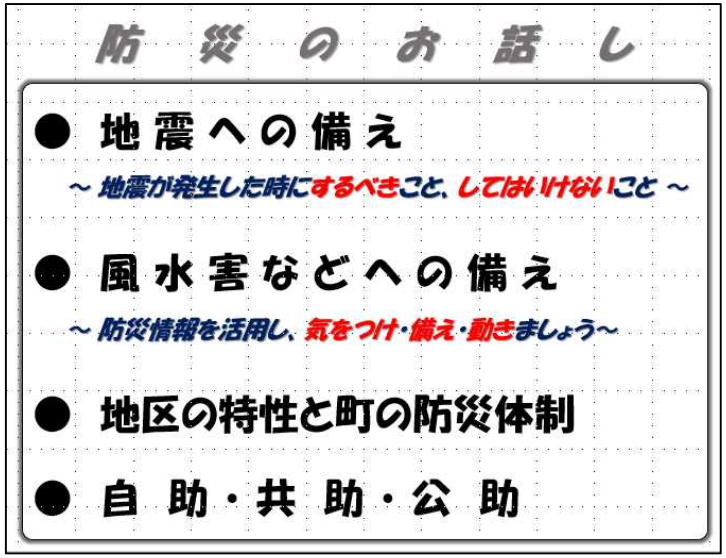


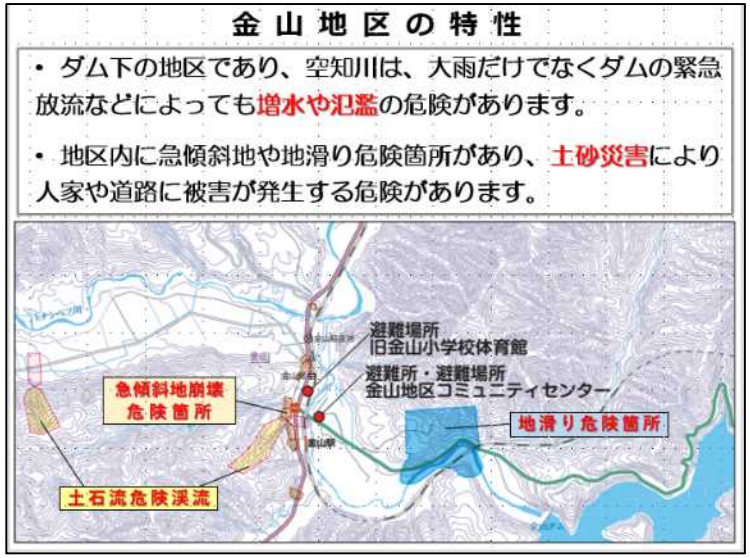
流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

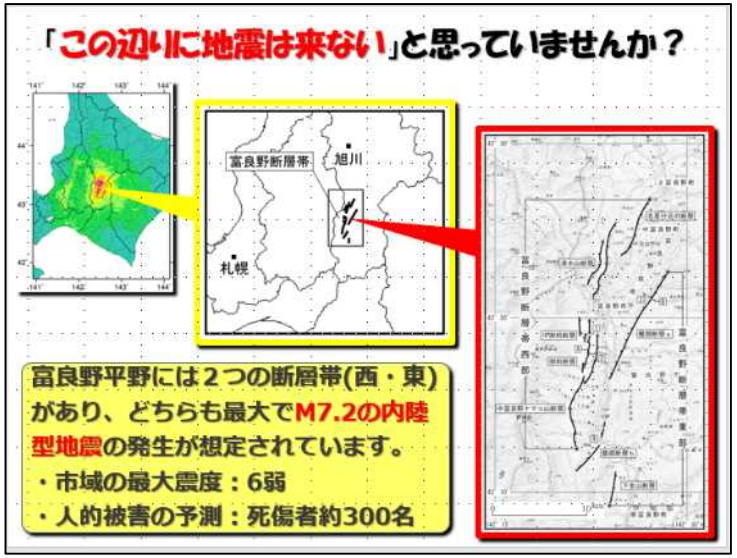
南富良野町

金山長寿クラブの防災講習「防災のお話し」の様子

講　習　の　状　況







説　明　画　面　の　一　例

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

南富良野町

南富良野町西小学校防災教育「身近な危険から自分を守る」の様子

授業の状況（座学）

授業の状況（実習）

学習資料（地区内を流れるダム下の空知川と灌漑用水について、特性、危険性等を解説）

次年度に向けた予定
小・中・高校の防災教育・1日防災学校、千里大学の防災授業、町民参加訓練(2コ地区基準)等を継続実施予定

札幌建設管理部
旭川建設管理部

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【空知川地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【建設管理部】 ・砂防関係施設の整備　等	【建設管理部】 ・砂防関係施設の整備　等
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

【札幌建設管理部】流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度 取組内容
　R3年度においては、継続実施していた旭1号の沢川砂防（完成）、モトマチ川砂防などの整備を実施し、「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

旭1号の沢川砂防

モトマチ川砂防

■次年度に向けた予定
　引き続き、砂防関係施設の整備等を進める。

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【空知川地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

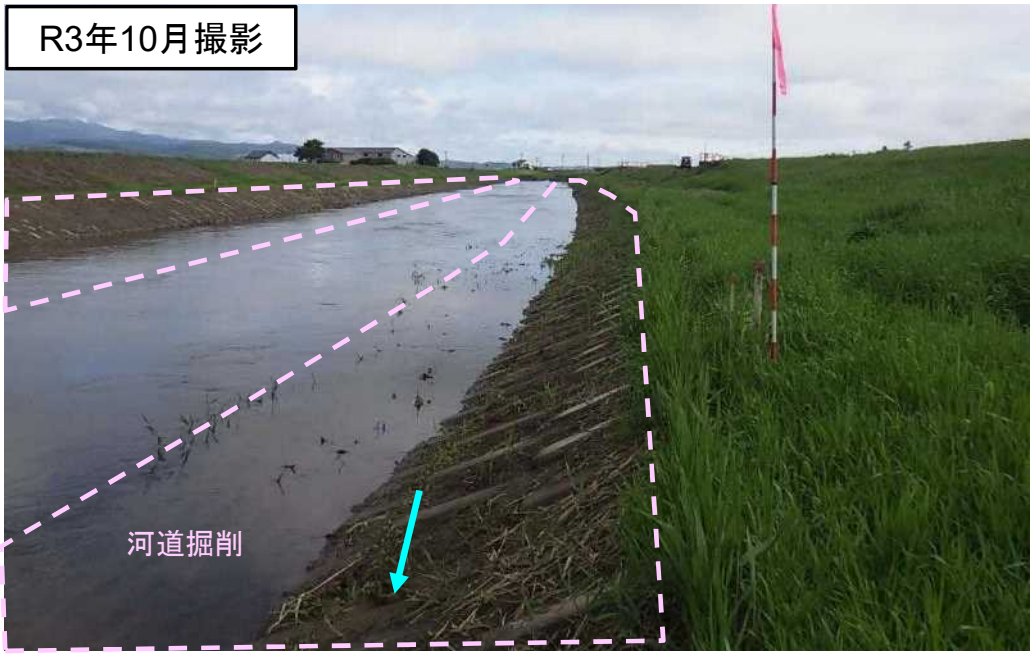
		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
上川総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【建設管理部】 ・ベベルイ川（富良野川支川）河道掘削 ・ヌッカクシ富良野川分水路（富良野川支川）河道掘削 ・富良野川河道掘削 ・東八線川（富良野川支川）河道掘削	【建設管理部】 ・ベベルイ川（富良野川支川）河道掘削 ・富良野川河道掘削 ・東八線川（富良野川支川）河道掘削
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

【旭川建設管理部】流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

■令和3年度 取組内容
　R3年度においては、継続実施していたベベルイ川、ヌッカクシ富良野川分水路の河道掘削を実施し、「流域治水」の推進を図った。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

R3年10月撮影



ベベルイ川　河道掘削

R3年11月撮影

ヌッカクシ富良野川　分水路

■次年度に向けた予定
　引き続き、優先整備区間において河道掘削等の整備を進める。

空知森林管理署
上川南部森林管理署

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト 【空知川地域部会】　各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知森林管理署	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【森林整備】 ・芦別市国有林でつる切・除伐による森林整備を実施 【治山対策】 ・芦別川上流支流域治山流域調査実施	【森林整備】 芦別市国有林でつる切・除伐による森林整備を実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく国有林の取組について

北海道森林管理局

■令和3年度　取組内容

・林野庁においては、山地災害や洪水被害が激甚化している中、これまでも、国土交通省と連携した流木対策や、氾濫河川上流域を対象とした森林整備・治山対策に取り組んでいるところ。

・R3年度においても、森林の有する土砂流出防止や水源涵養機能等の適切な発揮に向けての森林整備（間伐、植栽等）及び治山事業を実施した。

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

空知森林管理署　森林整備

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト 【空知川地域部会】　各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
上川南部森林管理署	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【森林整備】 ・南富良野町外国有林で間伐等による森林整備を実施 【治山対策】 ・長の沢治山工事（コンクリート床固工２基　完成予定） ・竹沢治山工事（コンクリート床固工３基　完成予定） ・串内治山工事（コンクリート床固工１基　完成予定）	【森林整備】 ・南富良野町外国有林で間伐等による森林整備を実施 【治山対策】 ・串内治山工事（渓間工　施工予定） ・空知川中流外治山流域別調査　実施予定
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

上川南部森林管理署　森林整備

上川南部森林管理署　治山事業

引き続き、「流域治水」の取組とも連携し森林整備（間伐等）及び治山事業を実施予定。

東北北海道整備局
北海道水源林整備事務所

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【空知川地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
森林整備センター	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	・流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施	・引き続き流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

（森林整備センター）

■ 令和3年度　取組内容　：　森林整備　間伐実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

間伐実施前

間伐実施後

■ 次年度以降も引き続き計画的に間伐を実施予定

空知総合振興局 産業振興部

- 整備課
- 北部耕地出張所

上川総合振興局 産業振興部

- 整備課
- 南部耕地出張所

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【空知川地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【整備課・北部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施	【整備課・北部耕地出張所】 ・排水施設等の農業用水利施設整備や区画整理工事など、農業農村整備事業の実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【空知川地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
上川総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【整備課】 ・関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。 【南部耕地出張所】 ・農業農村整備事業の実施（農地の整備による貯留機能向上：田んぼダムの取組の基盤を整備）	【整備課】 ・関係機関等に田んぼダムの取組について、広報を行なう。 【南部耕地出張所】 ・農業農村整備事業の実施（農地の整備による貯留機能向上：田んぼダムの取組の基盤を整備）
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

流域治水プロジェクトに基づく各種対策の概要について

北海道

■令和3年度　取組内容
・　農業農村整備事業の実施（農地の整備による貯留機能向上：田んぼダムの取組の基盤を整備）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

区画整理

施工前

施工後

令和4年度も引き続き、　農業農村整備事業を実施する。

空知総合振興局 産業振興部

- 林務課
- 森林室

上川振興局 産業振興部

- 林務課
- 南部森林室

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【空知川地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
空知総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・森林整備事業（間伐、植栽等）を芦別市、赤平市にて実施 【森林室】 ・百戸町北保育工事（赤平市）を実施 ・空知団地育林事業を芦別市、赤平市にて実施	【林務課】【森林室】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

石狩川（下流）水系流域治水プロジェクト【空知川地域部会】 各種対策のフォローアップ（取組状況整理表）

		R3年度取り組み内容	次年度以降の取り組み（予定）
上川総合振興局	氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策	【林務課】 ・15号の沢復旧治山工事（中富良野町）を実施 ・南富良野地区流木防止総合対策工事（南富良野町）を実施 ・144林班の沢小規模治山工事（南富良野町）を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）を富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町にて実施 【南部森林室】 ・東鹿越保育工事（南富良野町）を実施 ・南富良野団地育林事業を南富良野町にて実施	【林務課】【南部森林室】 ・森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に治山事業を実施 ・森林整備事業（間伐、植栽等）の計画的な実施
	被害対象を減少させるための対策		
	被害の軽減、早期復旧・復興のための対策		

治山対策・森林整備の概要について

北海道

■令和3年度　取組内容
・北海道において治山事業により渓間工（治山ダム等）、山腹工（法枠工等）、森林整備（間伐、植栽等）の実施
・北海道、各市町村等において森林整備事業（間伐・植栽等）を実施

氾濫をできるだけ防ぐ・減らす為の対策

渓間工（治山ダム等）の実施状況

山腹工（法枠工等）の実施状況

植栽の実施状況

間伐の実施状況

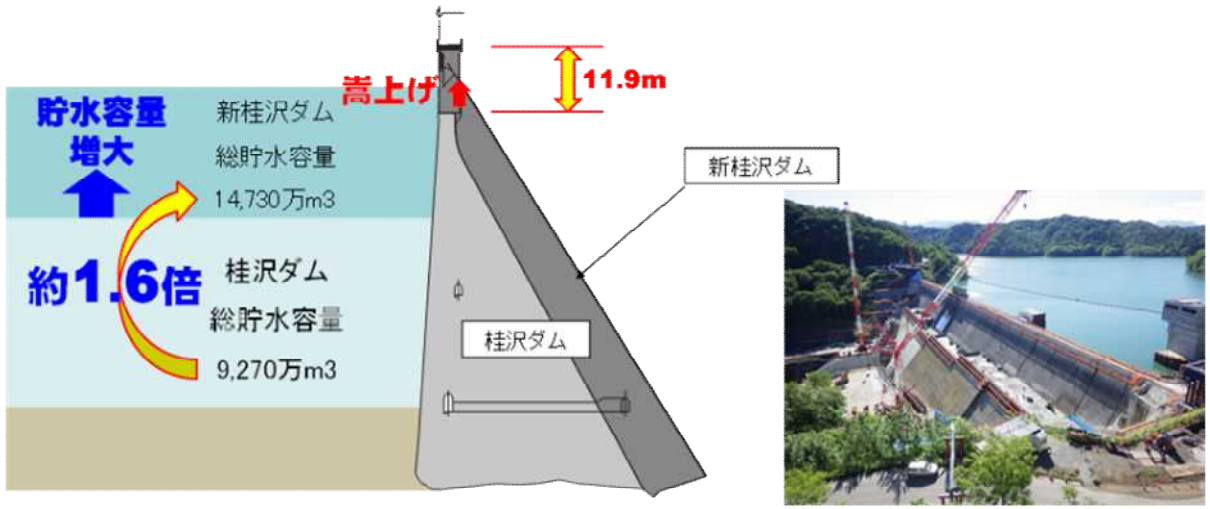
・治山事業について、継続事業・保育事業については継続的に実施。また森林の荒廃状況や市町村からの要望により計画的に事業を実施。
・各市町村等において森林整備（間伐・植栽等）を計画的に実施

札幌開発建設部における事業概要

- 幾春別川総合開発事業
- 北村遊水地の整備
- 千歳川の治水対策
- 雨竜川ダム再生事業

幾春別川総合開発事業

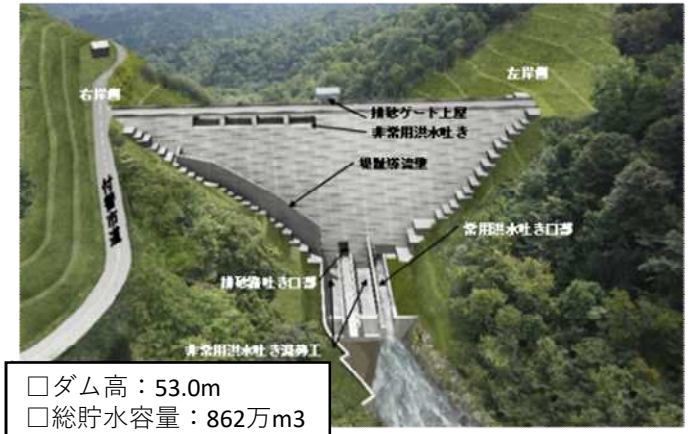
新桂沢ダム：直轄ダム初の同軸嵩上げでダム再生を実施



新桂沢ダムは既設桂沢ダムを11.9m嵩上げすることで総貯水容量を約1.6倍へと効率的に増大させるもので、既設ダムの有効活用により環境への負荷も抑制

三笠ぽんべつダム　：日本で初めての流水型の台形CSGダム

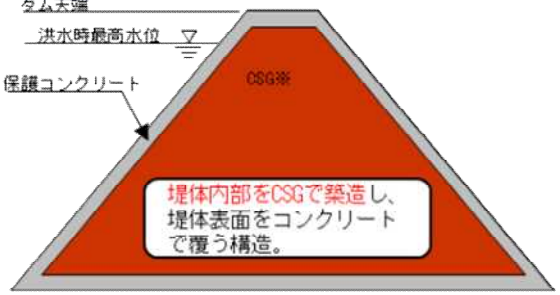
三笠ぽんべつダム完成予想図



□ダム高：53.0m
□総貯水容量：862万m3

「ＣＳＧ」とは、「コンクリート」のように材料を指す用語で、Cemented Sand and Gravel の頭文字で表し、「セメントで固めた砂礫」を意味する

台形CSGダム概念図



■目的

・新桂沢ダム（直轄ダム初の既設ダム同軸嵩上げ）
　洪水調節
　流水の正常な機能の維持
　水　　道　〔岩見沢市・美唄市・三笠市〕
　工業用水　〔石狩湾新港地域〕
　発　　電

・三笠ぽんべつダム（直轄ダム初の流水型の台形CSGダム）
　洪水調節

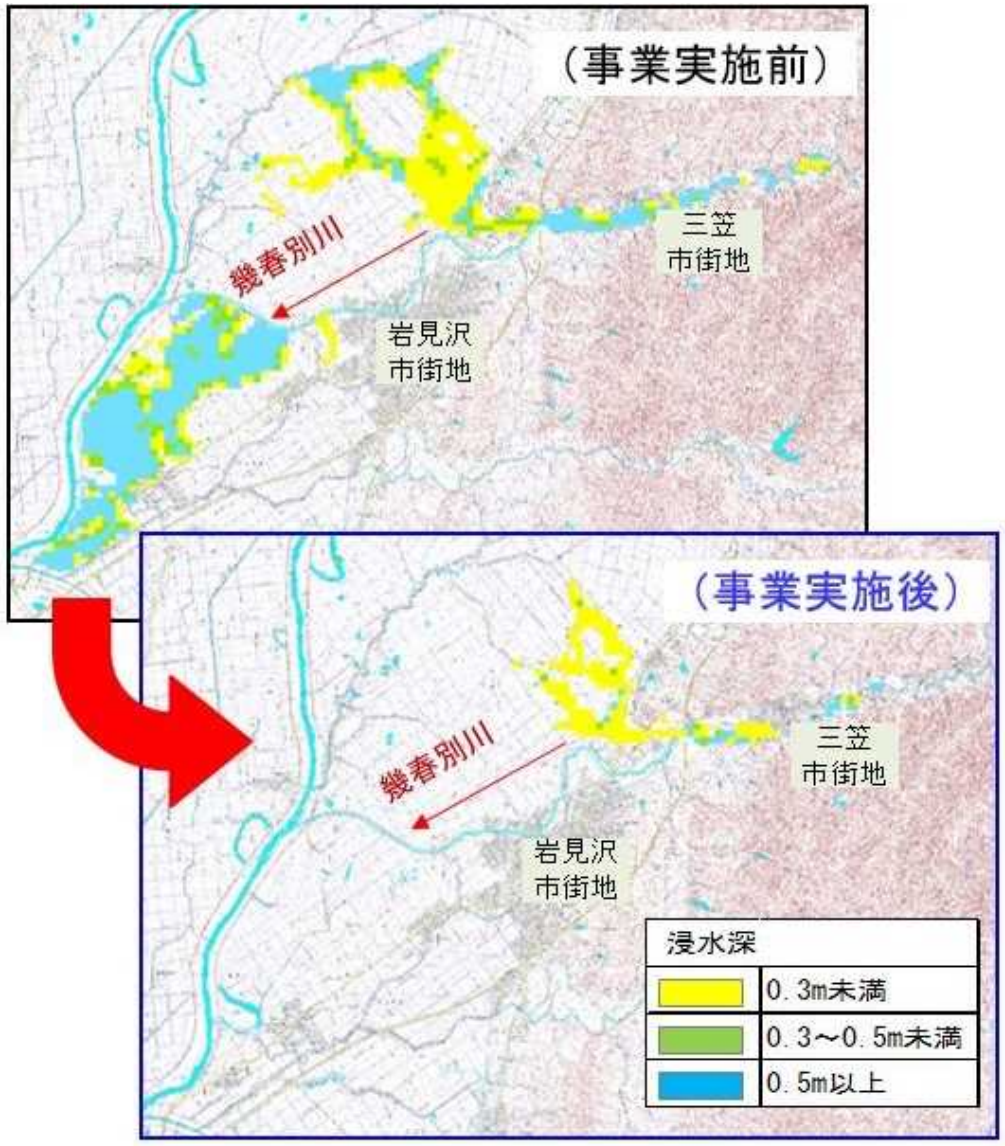
幾春別川総合開発事業

幾春別川をはじめとした石狩川下流地域において、年超過確率1/100の規模の洪水（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））を想定した場合に氾濫の恐れがある区域は、札幌市、江別市、岩見沢市、三笠市をはじめとした9市3町1村が含まれており、約250万人が暮らしています。また、水稲、小麦、小豆、大豆、たまねぎ、牧草などを栽培する農業も盛んです。

また、洪水調節以外にも「流水の正常な機能の維持」「水道用水の供給」「工業用水の供給」「発電」の４つの目的があります
また、現在の桂沢ダムから引き続いて灌漑（農業用水の供給）の役割も担います。

幾春別川総合開発事業により
治水効果が見込まれる地域

昭和56年8月上旬の大雨と同様の降雨による
洪水の想定浸水範囲



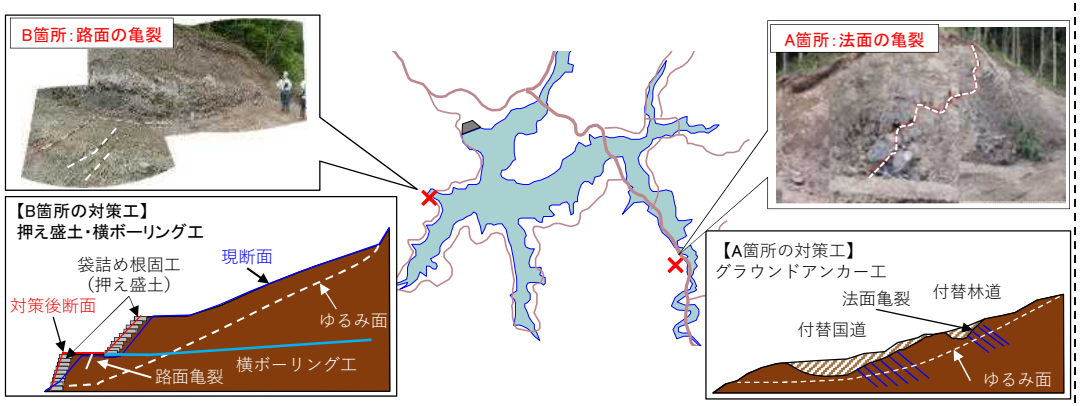
幾春別川総合開発事業（変更内容）

新桂沢ダムで生じた自然現象、現場条件の変更等に伴う精査等、三笠ぽんべつダムで本体施工計画の見直し等、経済・社会状況の変化による物価上昇等の変化が生じました。

①北海道胆振東部地震等の自然現象に起因する増

（新桂沢ダム）

平成30年8月の大雨後、付替道路箇所（A箇所）で法面の亀裂、平成30年9月の北海道胆振東部地震後に工事用道路（B箇所）で路面及び法面に亀裂を確認したことから、対策工等が必要となりました。

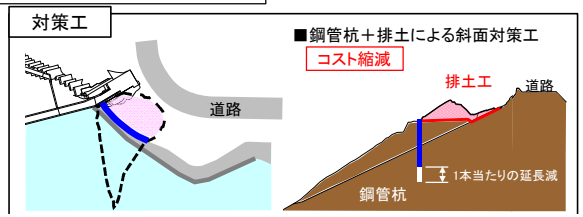


②現場条件の変更等による増（新桂沢ダム）

工事実施前の地質調査結果により、岩の分類、掘削範囲、基礎処理範囲を計画していましたが、工事の進捗に伴い想定よりも硬い岩の出現、基礎岩盤の一部にゆるみや新たに透水性が高い地層の広がりなどを確認したことから、施工方法の変更や新たな追加対策工等が必要となりました。

岩の分類変更
（施工方法の変更）

基礎岩盤ゆるみへの新たな追加対策



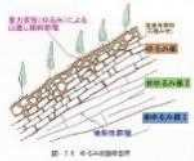
（三笠ぽんべつダム）

同形式の台形CSGダムや地質条件の類似する新桂沢ダムでの事前の地質調査に基づく基礎掘削範囲等を変更した実績を踏まえ、基礎掘削範囲や基礎処理範囲等の変更への備えが必要となりました。

【堤体関連で想定した内容】

岩盤ゆるみ部の除去に伴う基礎掘削、堤体打設数量の変更、基礎処理範囲の変更に伴う施工深度、施工本数の変更、濁水処理の追加対策等

【貯水池周辺で想定した内容】



斜面の応力解放で形成された地形性節理沿いに、変形した「ゆるみ岩盤」が存在することから、工事中に発生する法面崩落に備えた対策等

③物価上昇等の経済・社会状況の変化による増

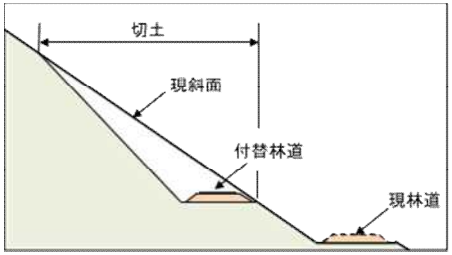
（新桂沢ダム・三笠ぽんべつダム）

新事業費の算定にあたっては、平成23年度～平成30年度の物価上昇の傾向から単価の変動を考慮し、今後の物価上昇を想定し費用を計上しました。

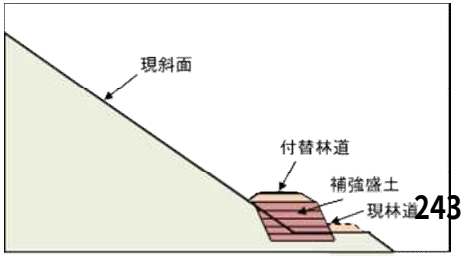
④施工方法等の見直し（コスト縮減）（新桂沢ダム）

破砕帯の崩落を避けるため安定勾配による切土が必要となりました。安定勾配による切土では、長大な法面となることで事業費が増額となるほか、維持管理への支障等が懸念されることから、関係機関と協議を行い、現道の嵩上げ（盛土）を中心とした施工方法に変更することで、コスト縮減を図ります。

コスト縮減前



コスト縮減後



幾春別川総合開発事業（基本計画の変更）

【現計画】（H30.12）

目　　的	新桂沢ダム　　：洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電、水道 三笠ぽんべつダム：洪水調節		
型　　式	新桂沢ダム：重力式コンクリートダム	三笠ぽんべつダム：台形CSG	
堤　　高	新桂沢ダム：75.5m	三笠ぽんべつダム：53.0m	
総事業費	約1,150億円		
工　　期	昭和60年度から令和5年度まで		

費用負担割合	
河　　川	97.4%
水　　道	0.1%
工業用水道	1.2%
発　　電	1.3%

【変更計画案】

目　　的	新桂沢ダム　　：洪水調節、流水の正常な機能の維持、発電、水道 三笠ぽんべつダム：洪水調節		
型　　式	新桂沢ダム：重力式コンクリートダム	三笠ぽんべつダム：台形CSG	
堤　　高	新桂沢ダム：75.5m	三笠ぽんべつダム：53.0m	
総事業費	約1,667億円		
工　　期	昭和60年度から令和12年度まで		

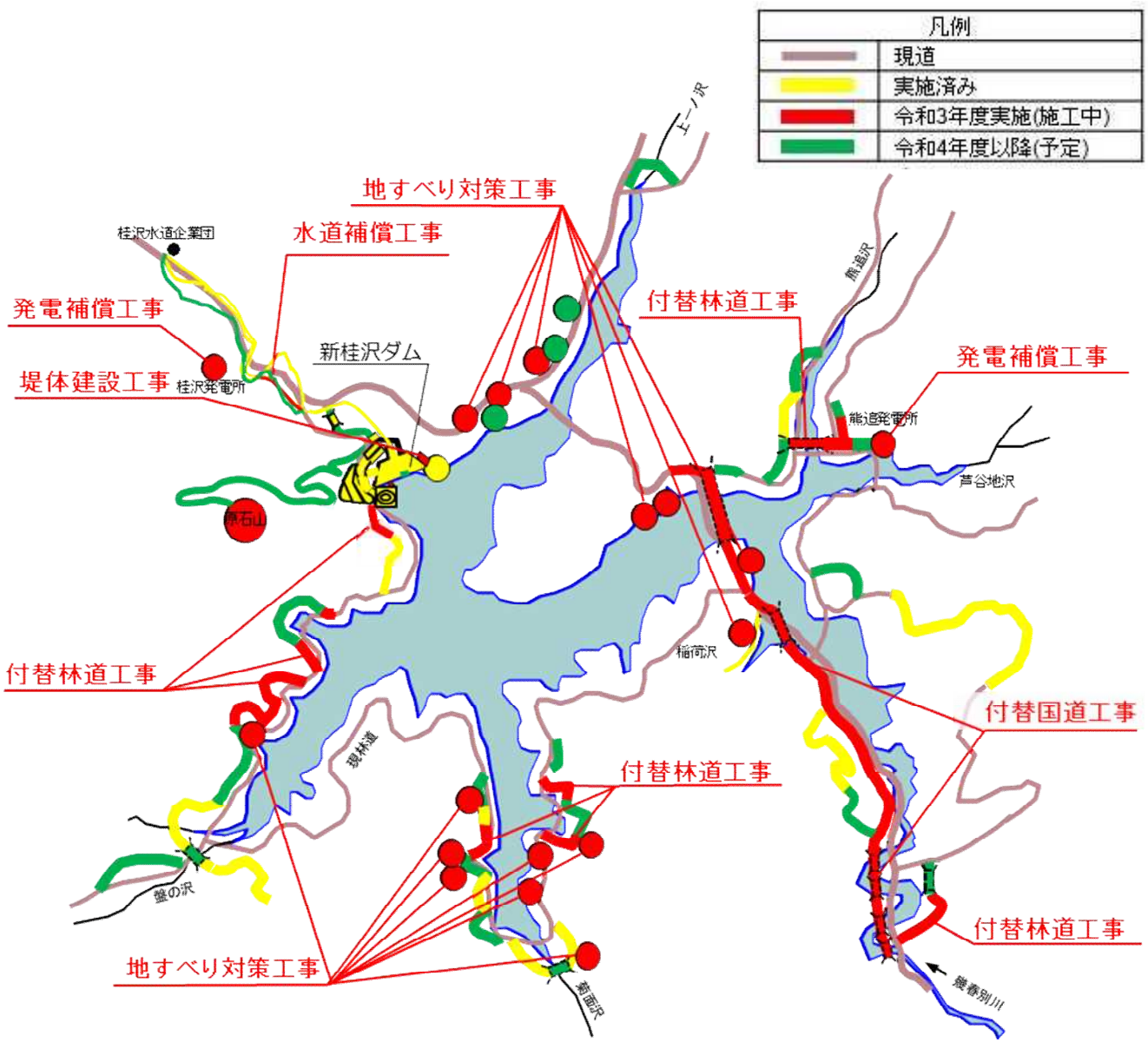
費用負担割合	
河　　川	97.7%
水　　道	0.1%
工業用水道	1.2%
発　　電	1.0%

〈今後の変動要因〉
- コロナウィルスの影響は見込んでいない。
- 今後の施工において、法面亀裂等の不可避事象が生じた場合、変動することがある。
- 工程について、今後実施する調査設計や協議、予算の制約や入札手続き等によっては、見込みどおりとならない場合がある。

基本計画の変更に対する北海道知事回答（R3.7）

基本計画の変更について、地方自治体を取り巻く厳しい財政状況等を十分に踏まえ、次の意見を付して同意する。
1　今後、総事業費の増額を一切行わないこと。
2　徹底したコストの縮減と適切な事業の監理により、総事業費を減額すること。
3　ダムの早期完成により事業効果を速やかに発現させること。
4　総事業費の減額のために講じる措置や自然災害等による影響について適時適切に情報提供を行うなど、事業の執行状況の透明化を図ること。
なお、今後の事業執行に当たっては、環境の保全について十分配慮すること。

幾春別川総合開発事業（進捗状況）



令和３年度の主な工事概要

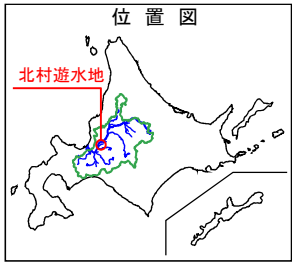
新桂沢ダム本体工事実施状況（R3.7）

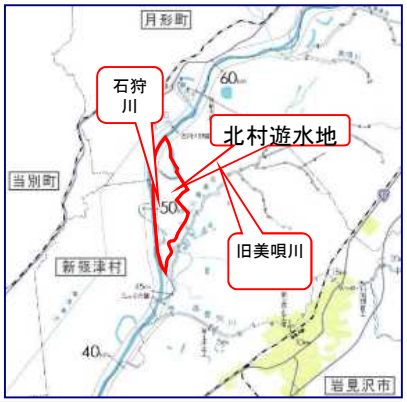
三笠ぽんべつダム状況（H17. 5）

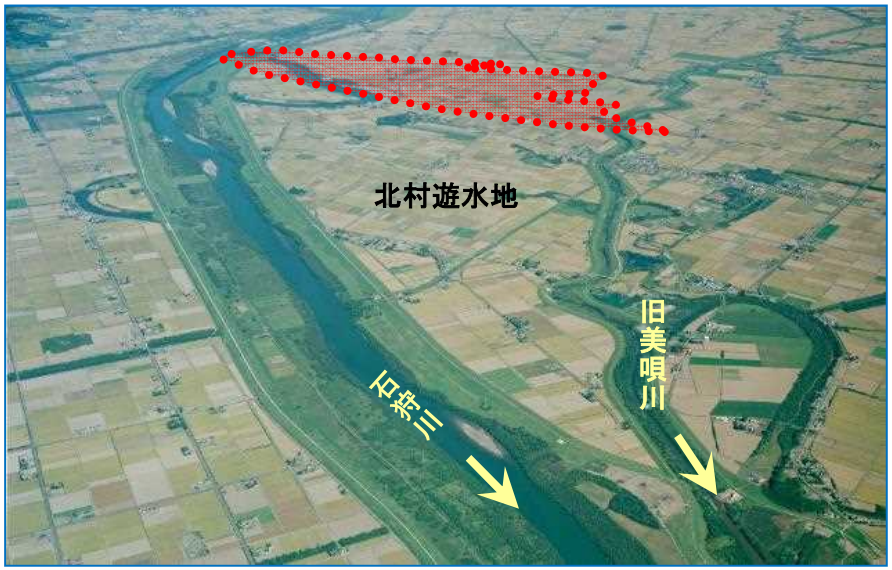
北村遊水地の整備

●北村遊水地事業の概要

◆石狩川（下流）河川整備計画では、石狩川流域に甚大な被害をもたらした戦後最大規模の洪水である昭和56年8月上旬降雨により発生する洪水流量を安全に流すことを目標としています。
◆石狩川中流部に北村遊水地（950ha、洪水調節容量4.2千万m3）を整備することにより、石狩大橋地点における整備計画目標流量14,400m3/sのうち概ね700m3/sの洪水調節を行い、下流域の洪水被害を軽減します。





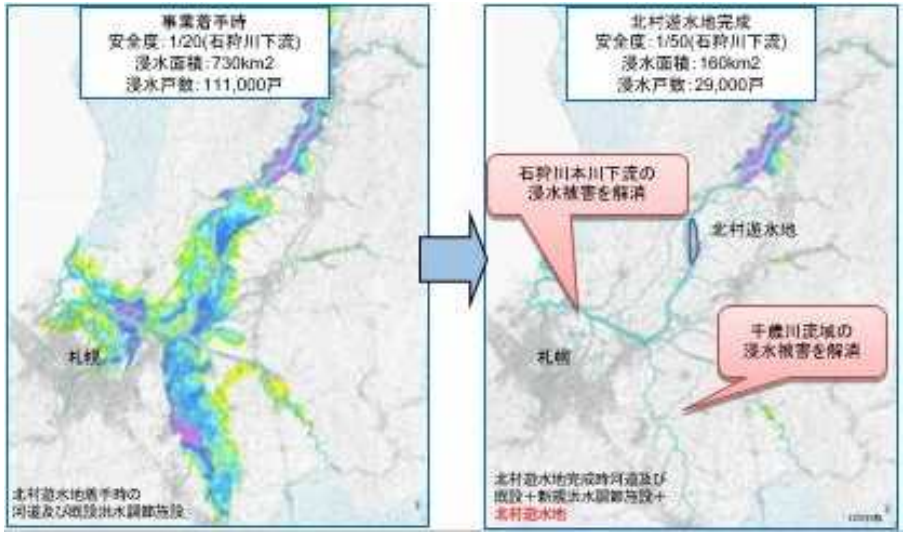


◆ 事業箇所　岩見沢市、月形町、新篠津村
◆ 事業内容　周囲堤、囲ぎょう堤、越流堤、排水門、用地・補償など
◆ 事業期間　H24年～R8年

●遊水地のはたらき

◆洪水の一部を貯留し、川の水位を下げます。

●北村遊水地完成後の効果　（昭和56年8月上旬降雨を想定した場合）



●昭和56年８月上旬洪水の被害状況

（被害家屋約22,500戸、氾濫面積約614km2）

石狩川右岸 下新篠津築堤付近の氾濫状況
（江別市・昭和56年8月洪水）

創成川 市街地の浸水状況
（札幌市・昭和56年8月洪水）

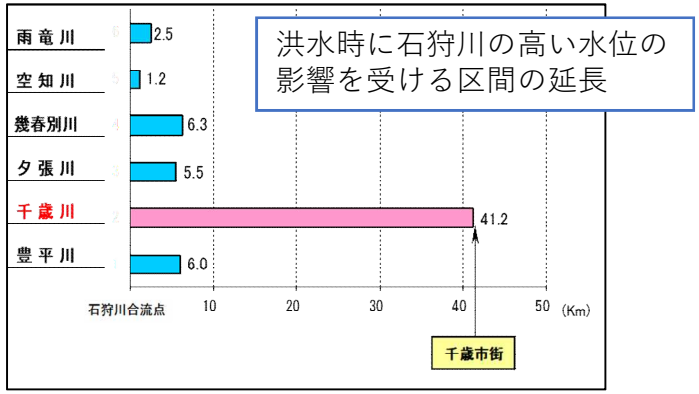
北村遊水地の整備

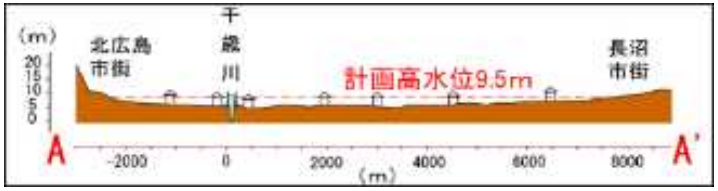
①周囲堤施工状況

②囲ぎょう堤施工状況

③道路移設工事状況

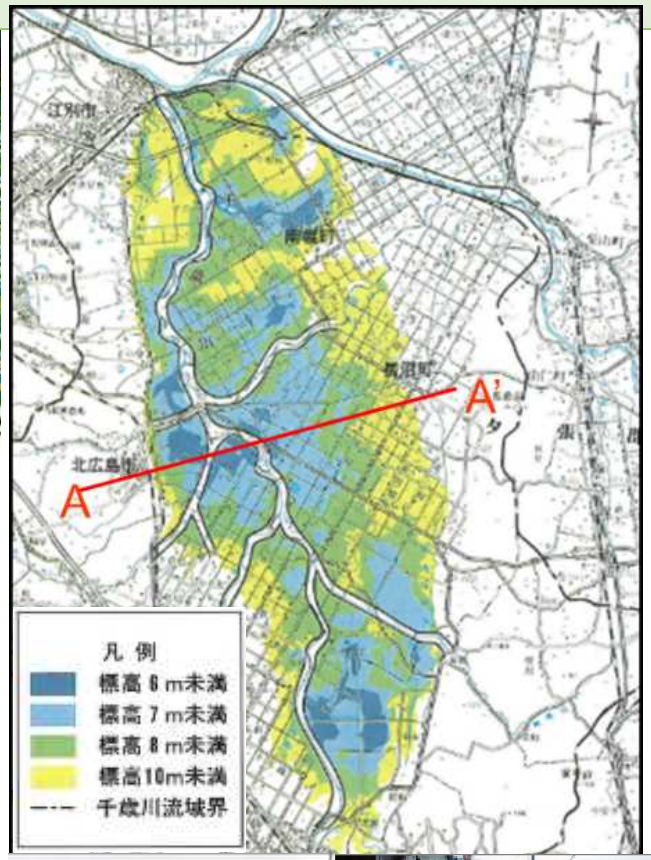
○　洪水時に石狩川本川の高い水位の影響を約40kmと長い区間にわたり長時間受けることから広大な低平地全
　体で浸水被害が懸念される治水上の大きな課題を有する地域。
　　特にS50、S56年洪水では甚大な被害となった。近年においても内水氾濫被害が頻発。
○「破堤等の危険性が高い」、「雨水の排水が十分にできない」などの水害が起きやすい特性を有している。



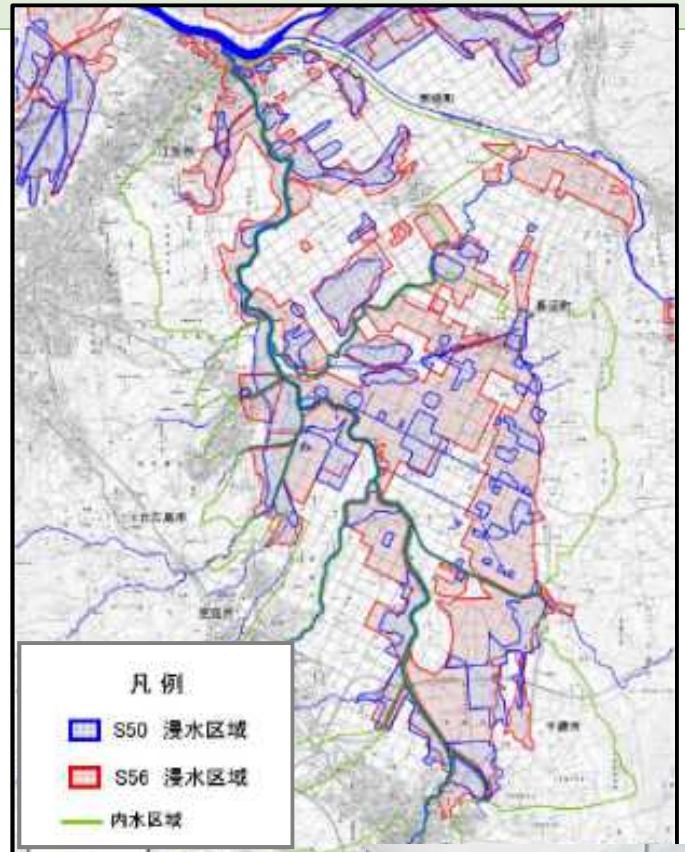


千歳川沿川低平地のイメージ図

地形特性



S50・S56浸水実績



S56.8
長沼市街浸水状況

S56.8
北広島市街浸水状況

H13
長沼町浸水状況

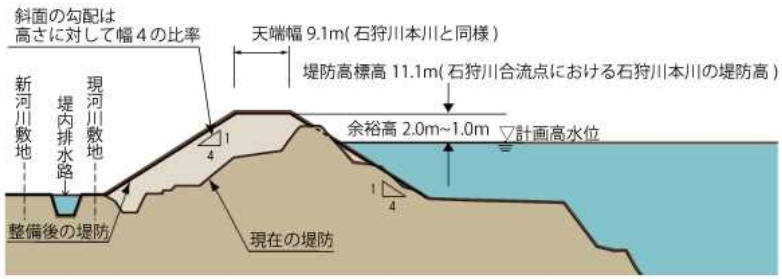
H26.9
恵庭市浸水状況

○　戦後最高水位となり、未曾有の大洪水となった昭和56年８月上旬降雨により発生する洪水を石狩川の整備と相まって計画高水位以下で安全に流すことを目標。

堤防整備

◆石狩川の高い水位の影響を長時間受けることに対応した、石狩川合流点における石狩川本川と同程度の堤防高・天端幅を有する堤防整備を実施

堤防整備の断面図（イメージ）

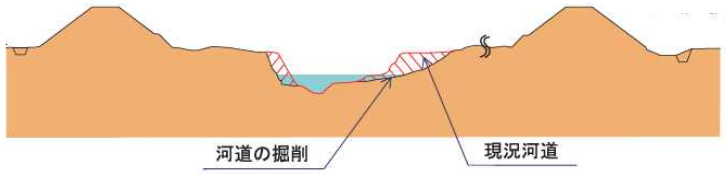


河道掘削

◆河道断面が不足している区間では、洪水時の水位を下げる河道掘削を実施

・千歳川本川、剣淵川、祝梅川、漁川の河道掘削は完了

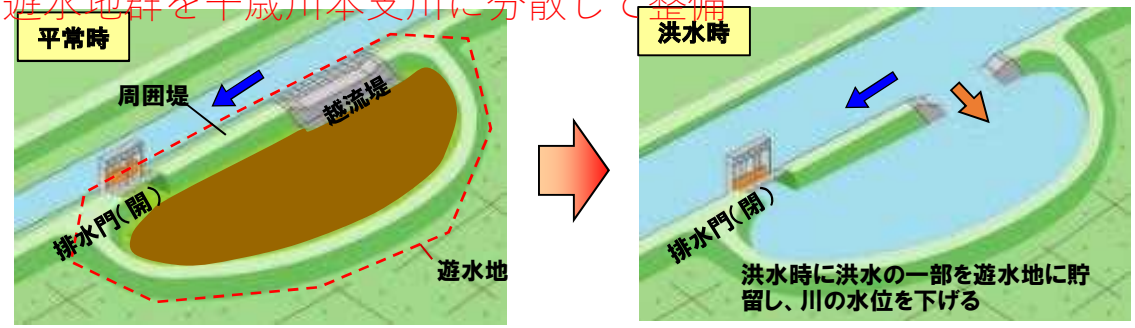
河道掘削の断面図（イメージ）



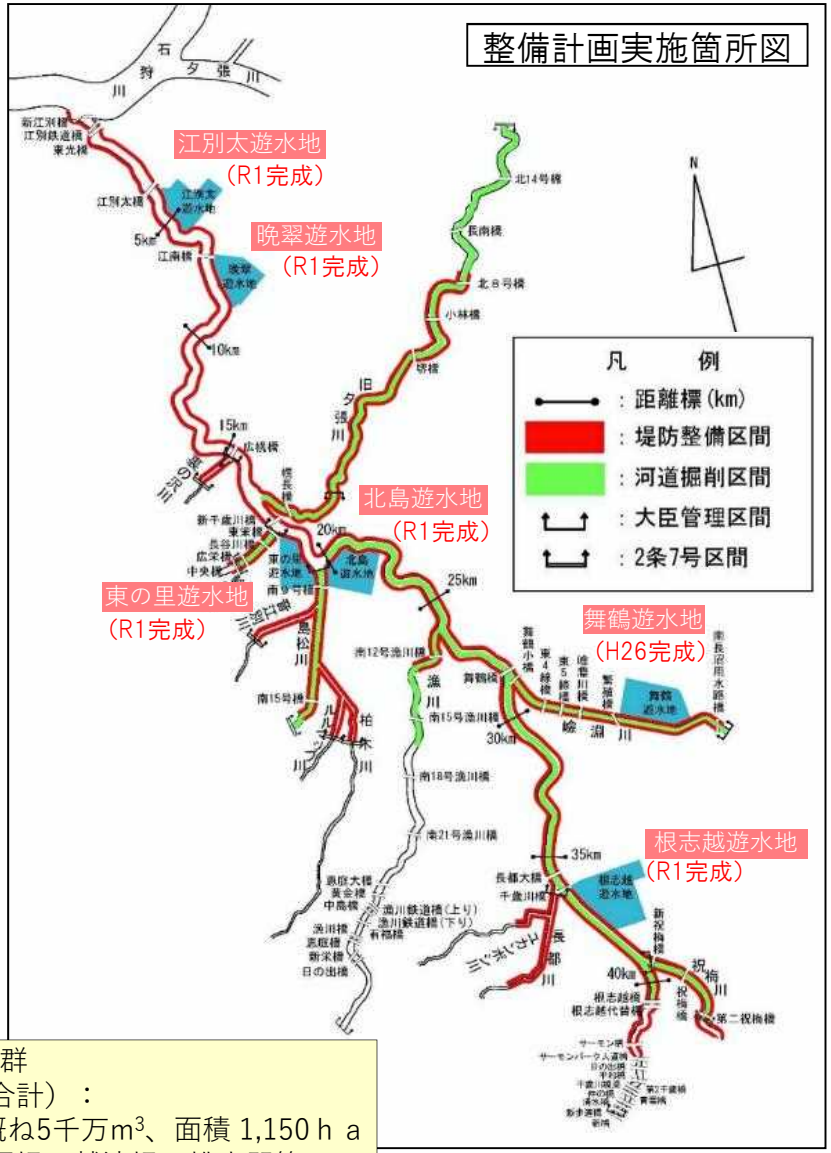
遊水地群

◆昭和56年8月上旬降雨により発生する洪水のピーク水位を計画高水位以下

となるよう流域4市2町の地先において、洪水調節容量が概ね５千万ｍ３の遊水地群を千歳川本支川に分散して整備



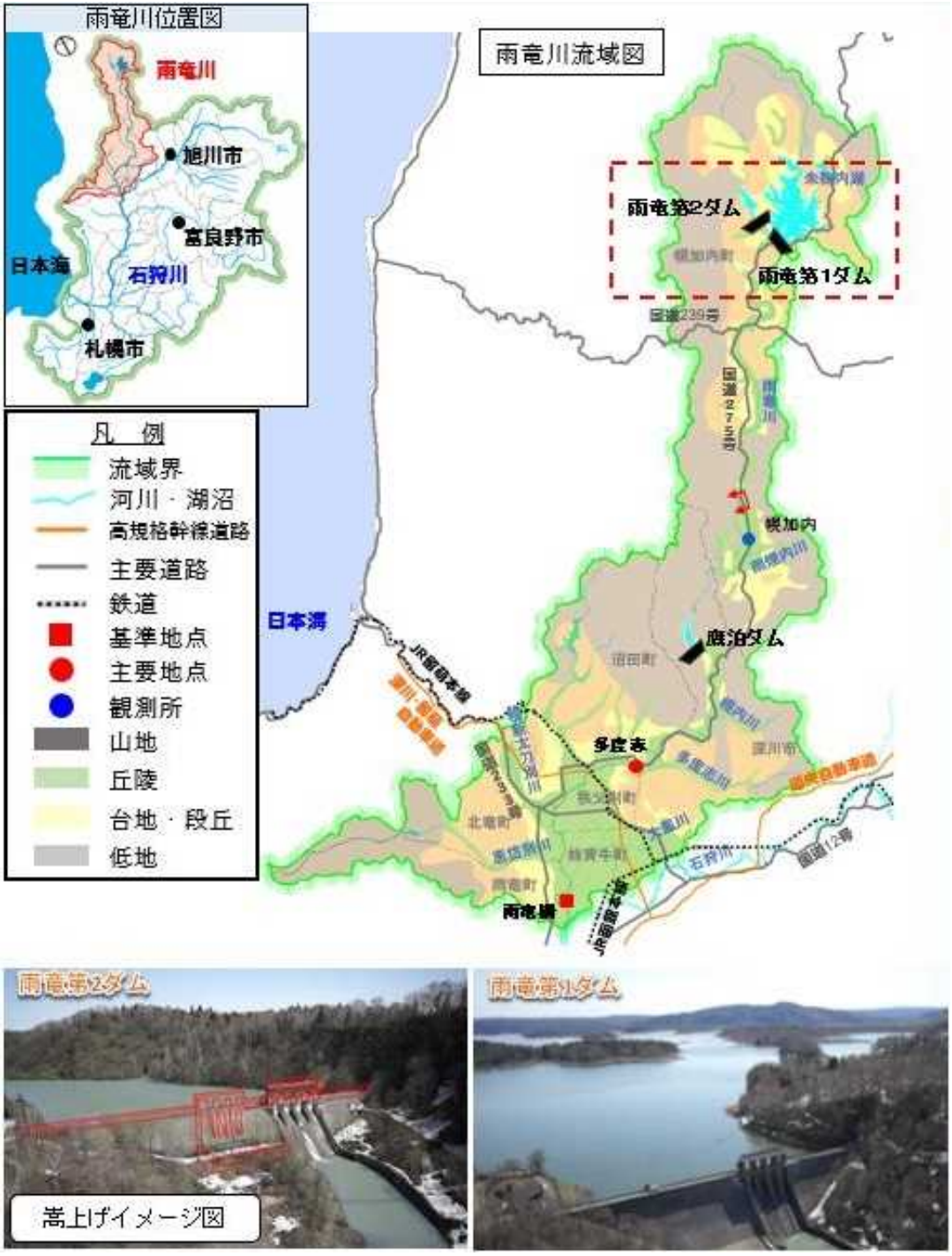
整備計画実施箇所図



■千歳川遊水地群
規模（6遊水地合計）：
洪水調節容量 概ね5千万m³、面積 1,150ｈａ
主な施設 ： 周囲堤、越流堤、排水門等
事業期間 ： 平成20年度～令和元年度

※基図情報は平成27年3月千歳川河川整備計画時点

雨竜川ダム再生事業



事業概要

事業箇所	北海道雨竜郡幌加内町（ほろかないちょう）
目　　的	洪水調節（雨竜川、石狩川の洪水被害軽減）
事業内容	既設の発電ダム（雨竜第１ダム・雨竜第２ダム）の利水容量のうち、予備放流水位以上の容量を洪水調節容量に振り替えるとともに、雨竜第２ダムの嵩上げと合わせて約2,500万m^3の洪水調節容量を確保し、治水機能を付加する。
総事業費	約190億円

現行

再生後

※再生後：赤文字

【雨竜第1ダム】

【雨竜第2ダム】

2.4m嵩上げ

経　緯

・昭和18年8月　雨竜第１ダム・雨竜第２ダム竣工
・平成16年6月　石狩川水系河川整備基本方針　策定
・平成19年5月　石狩川水系雨竜川河川整備計画　策定
・平成29年7月　石狩川水系雨竜川河川整備計画　変更
・平成30年度　雨竜川ダム再生事業　実施計画調査に着手

雨竜川ダム再生事業

石狩川水系雨竜川河川整備計画 （平成19年5月9日策定、平成29年7月6日変更）

- 戦後最大規模の降雨により発生する洪水流量流下時の被害軽減を図ることを目標とする。下流域においては昭和56年8月上旬降雨により発生する洪水流量、中上流域においては平成26年8月降雨により発生する洪水流量を目標流量とする。
- 雨竜橋地点における目標流量を2,400m³/sとし、既設ダムの活用により100m³/s を調節して、河道への配分流量を2,300m³/sとする。

河川整備計画における雨竜第１ダム・第２ダムの位置付け

- 「既設ダムである雨竜第1ダム・第2ダムを有効活用し、新たに洪水調節機能を確保することについて、施設管理者と協議の上、各種調査・検討を行い、必要な対策を実施する。」と規定。

平成30年度以降、建設移行に必要な各種調査を継続実施。

令和３年度は、引き続き、地質調査等を実施

昭和63年8月洪水
（境川と秩父別桜川合流部付近の冠水状況）

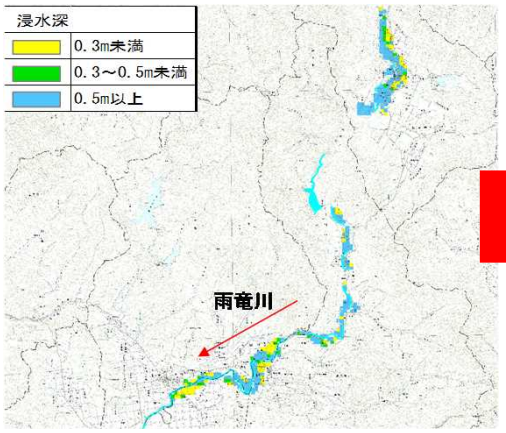
平成26年8月洪水
（幌加内町市街地）

昭和63年8月洪水
（雨竜川・美馬牛川合流部左岸）

平成26年8月洪水
（幌加内町：国道275号の冠水）

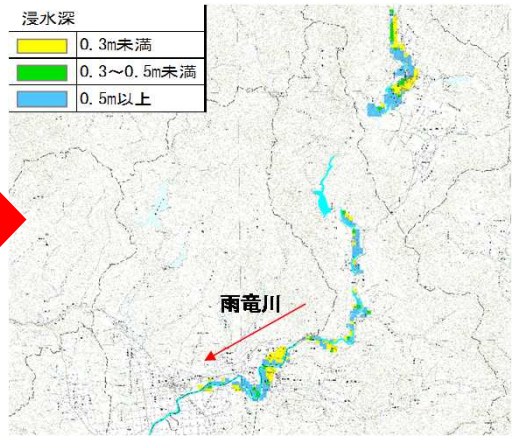
河川整備計画目標規模の洪水における想定される浸水範囲

事業実施前

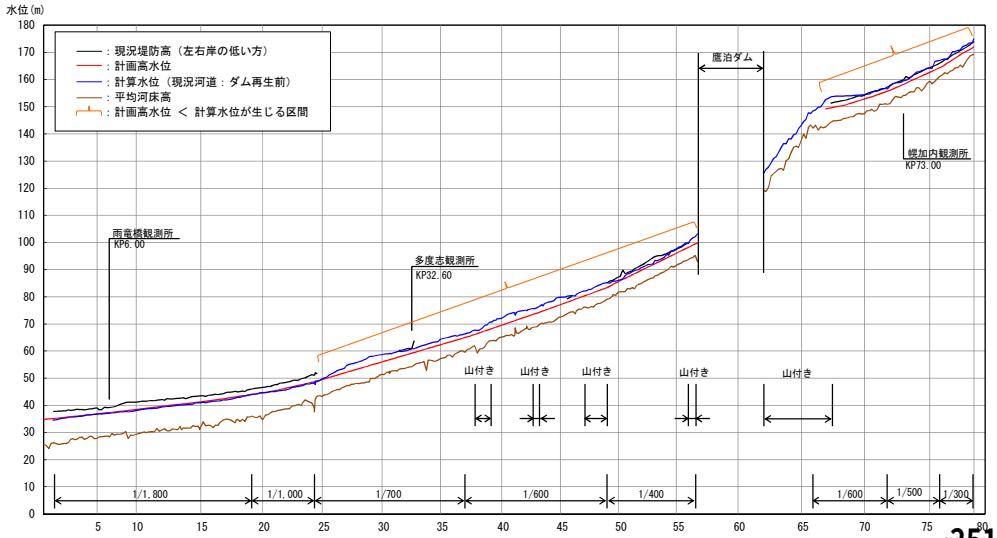


浸水面積：約
2,000ha

事業実施後



浸水面積：約
1,600ha



雨竜川の水位縦断（整備目標流量（中上流：H26.8実績規模　下流域：S56.8実績規模））